

令和5年度
青少年委員実践集録

地域で育てよう
未来を拓く青少年！

令和6年3月

杉並区青少年委員協議会
杉並区教育委員会

目 次

あいさつ	青少年委員協議会	会長 泉市 清子	p.2
	学校支援課	課長 木下 宏純	p.2
青少年委員協議会報告			p.3
ブロック活動報告	第1ブロック		p.4
	第2ブロック		p.4
	第3ブロック		p.5
専門部活動報告	地域交流部		p.5・6
	研修部 基礎研修・実技研修・ 委員研修・自主研修		p.7~9
	広報部		p.9
青少年委員だより	第81号		p.10
協議会活動	第14回すぎなみ舞祭		p.11
	杉並区中学校対抗駅伝大会		p.11
青少年委員制度発足70周年記念イベント			p.12~14
各中学校区での取組			p.15
	高南中学校区		p.16
	杉森中学校区		p.17
	阿佐ヶ谷中学校区		p.18
	東田中学校区		p.19
	松溪中学校区		p.20
	東原中学校区		p.21
	中瀬中学校区		p.22
	井荻中学校区		p.23
	井草中学校区		p.24
	荻窪中学校区		p.25
	宮前中学校区		p.26
	富士見丘中学校区		p.27
	高井戸中学校区		p.28
	向陽中学校区		p.29
	松ノ木中学校区		p.30
	大宮中学校区		p.31
	泉南中学校区		p.32
	和田中学校区		p.33
	西宮中学校区		p.34
	天沼中学校区地域教育推進協議会		p.35
	高円寺地区地域教育推進協議会		p.36
	杉並和泉学園校区地域教育推進協議会		p.37
	神明中学校区地域教育推進協議会		p.38
委員の実践	絆を深める地域活動		p.39
青少年委員協議会	令和5年度年間活動状況		p.40・41
青少年委員協議会規約・組織図			p.42・43
青少年委員協議会委員名簿			p.44



「自分らしく生きる未来へ」

青少年委員協議会 会長 泉市 清子

昨年度一年かけて学んだ「教育ビジョン2022：みんなのしあわせを創る杉並の教育」を踏まえ、今年度は青少年委員制度発足70周年記念事業の企画から実施まで、あっという間に駆け抜けた1年でした。記念誌や区役所ロビーでの展示、そしてセシオン杉並ホールでの講演会を専門部ごとに担当し、委員41名と学校支援課のチームワークの良さが十二分に発揮され、1月27日にすべてが無事に終了しました。

例年たくさんの青少年に関わる事業や委員会に青少年委員を代表して出席し、私達の意見を伝えてきましたが、今年度はそれに加え、周年記念事業をはじめ様々な場で多くの方々と出会い、私たちのことを知っていただく機会に沢山恵まれました。そこで予想外の質問や感想をいただき、改めて「青少年委員とは？」を考えるきっかけにもなりました。

日頃の活動を通じて、不登校、いじめ、子どもたちの居場所、働き方改革、ジェネレーションギャップ、多様性等、社会で問題になっている事柄を一番に体感し、その解決方法を常に考えているのが青少年委員ではないかと思うことがあります。12月に区長との懇談会でその思いを共有し、実りある時間を過ごすことができました。

周年記念事業のラストを飾った「QuizKnock 須貝駿貴さんによる講演会『君らしく生きる未来へ』」。会場には小中学生と保護者が大勢参加して下さり、須貝さんのパワーと子ども達の笑顔があふれる空間となりました。内容は全世代に通じる「自分らしく生きる」ヒントが詰まった、まさに教育ビジョン「みんなのしあわせを創る」とはこれだ！と、新しい時代を担う須貝さんにご講演いただけたことに喜びをかみしめました。

パネル展示をした時、区役所ロビーの吹き抜けには「人をつなげる 心がつながる 笑顔をつなぐ」の言葉と大きな虹が描かれた横断幕を掲げました。この一年の様々な場面や紙面には委員みんなの笑顔があふれていました。私はこの笑顔にどんなに救われたことでしょうか。多くの方々と素晴らしい出会いに感謝し、次の10年へとバトンを渡したいと思います。

未来のためのプラスのエネルギー

杉並区教育委員会事務局学校支援課長 木下 宏純

年末に発表された中高生の好きなスポーツ選手ランキング、1位は3年連続となる大谷翔平選手でした。WBCで優勝、二桁勝利にホームラン王の大活躍でしたが、子どもたちの間で野球人気が高いとは言えない中、この29歳の青年が広く人気を集めたのはなぜなのでしょう。

私は、すべての人の心を捉えると言ってもよいあの明るさが、子どもたちの心をもがっちり掴んだのではないかと想像します。大谷選手の凄さは、誰よりもストイックに野球に取り組みながら、誰よりも明るいところではないかと思いますが、なぜそんなことができるのでしょうか。もちろん、元々の性格もあるとは思いますが、彼は、「大好きな野球をやっているから」と言うに違いありません。

人生で好きなものに会おうというのはとても大切なことですが、どんな「好き」も、体験なくしては決して始まることはありませんし、振り返ってみれば、どこで何を好きになるかは自分でもわからないというのが、大方ではないでしょうか。子どもたちの行動範囲が広いとは決して言えない今、自分たちの安心できるテリトリーである地域の中で様々な人と出会い、様々な機会を創出して下さる青少年委員さんの取組は、そうした観点でも、とても意義深いものだと思います。

今回、過去10年ほどの実践集録を読み返してみましたが、会長はじめ各ブロックと各部の皆さんの「子どもたちを幸せにするには、まず自分たちが笑顔で楽しく、幸せでなきゃ！」といった思いが脈々と受け継がれていることを強く感じます。子どもたちに影響を与え得る大人たちが持つ、そうした明るいプラスのエネルギーは、大谷選手ではないですが必ず子どもたちに伝わり、やがて彼らがどこかで「好き」に出会うためのエネルギーに転化していくのだと思います。

今年度は制度発足70周年の節目の年ともなりましたが、引き続き、子どもたちの未来のためにお力添え賜りますよう、お願い申し上げます。



【青少年委員協議会報告】

令和4・5年度活動テーマ 「地域で育てよう 未来を拓く^{ひら}青少年！」

青少年委員は、各地区の青少年育成委員会からの推薦を受け、教育委員会から委嘱されています。各中学校区に2名の配置で、現在41名の委員で活動しています。

新型コロナウイルス感染症が拡大してから4年になります。この4年間で世の中はいろいろ変わりました。子どもたちには、この予測不能な時代において、前向きにたくましく、明るい未来を切り拓いていってほしいとの思いを込めて、「地域で育てよう 未来を拓く青少年！」をテーマに掲げています。

青少年委員は各担当中学校区において、小中学校、児童館、幼稚園、保育園、子供園、町会などのメンバーで構成される「地域教育連絡協議会(地教連)」の事務局として、懇談事業や子ども地域活動促進事業(子促)を行っています。また、天沼中学校区、高円寺地区、杉並和泉学園校区、神明中学校区では「地域教育推進協議会(地教推)」の事務局として、地教連よりも大きな枠組みで地域での多様な活動を行っています。コロナ禍でいろいろ制約を受けてきた活動は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、コロナ以前に近い形で活動できるようになりました。コロナ禍でも出来ることを考え、工夫して新しい形で開催してきた経験が現在のさらに良い活動につながっています。

今年度の青少年委員協議会は、様々な状況にも柔軟に対応できるように、①オンライン、②杉並区を3つに分けたブロック会、③全員対面式、の3つの方法で全体会を行いました。それぞれの特徴を生かし、少人数での

グループトークや、情報共有、研修を兼ね、自己研鑽と意識の向上に努めました。それに伴う三役会や役員会は毎月開催しています。

協議会には研修部、広報部、地域交流部の3つの専門部があります。

研修部は、行政主催の基礎研修(青少年委員として必要な知識を学ぶ)、委員研修(充実した活動のために学ぶ)、実技研修(活動のために必要なスキルを学ぶ)に積極的に関わっています。また、協議会主催の自主研修を企画・運営し、青少年委員の研鑽を図っています。

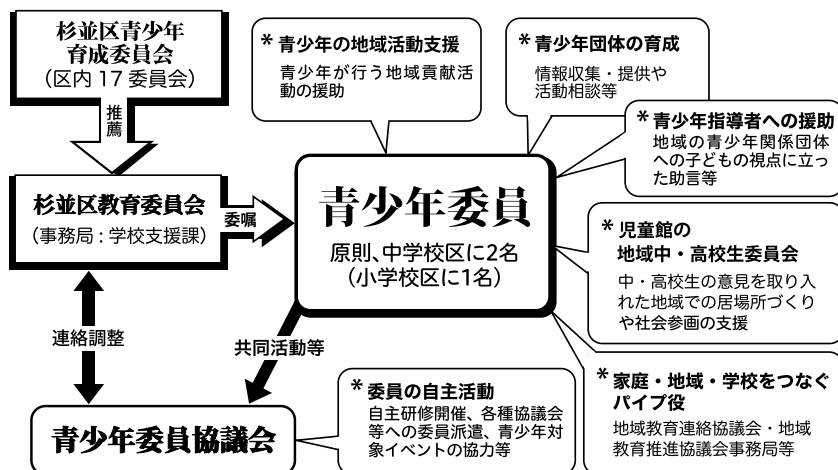
広報部は「青少年委員だより」を年2回発行(今年度は1回発行)し、活動の周知を図っています。また、一年間の活動をまとめた「青少年委員実践集録」を作成しています。

地域交流部は、主に青少年を育成する団体との交流を企画・運営していますが、今年度は、岸本杉並区長との懇談会を開催しました。

さらに、今年度は青少年委員制度発足70周年を迎え、記念事業の準備を各専門部にて行ってきました。研修部は【現在】の活動を紹介する「パネル」を展示、広報部は【過去】を振り返る「青少年委員制度発足70周年記念誌」の発行、地域交流部は【未来】に向かう子どもたちのために「記念講演会」を開催しました。

その他区内行事の派遣活動としては、ふれあい運動会、すぎなみ舞祭、中学校対抗駅伝大会、ファミリー駅伝に協力しました。また、区内青少年活動に関わる委員会等にも多数出席しています。(鈴木 里栄)

●●● 杉並区青少年委員の活動 ●●●





【ブロック活動報告】

第1ブロック

2年の任期を終える前に、1ブロックでは委員の交代があり、新たに委員を1名迎えることになりました。アットホームな1ブロックでありながら、熱き思いを抱く我らの仲間として歓迎したいと思います。

遅ればせながら、2月15日(木)にブロック研修を行いました。2023年10月にオープンしたばかりの区内の新施設「IMAGINUS (イマジナス)」を見学後、昼食会を行いました。新たな委員を迎え入れたこのタイミングでブロック研修を行い、親睦を深めることができたので大変良かったと思います。

「IMAGINUS」は旧杉並第四小学校の建物を利用した民間運営施設で、科学体験やワークショップ、デジタル機器を使用したもの作り体験等ができる施設です。ハード面ソフト面共に時代に合った新たなかたちで学びを提供しています。私たちも時代に合った学びのかたちを知り、活動に活かしていきたいと思いました。

今回の見学は平日の昼間ということもあり、一般のお客様は少なかったのですが、見学中に委員の知り合い2組に遭遇！まさかこんなところで驚きつつも、青少年委員の顔の広さを実感しました。青少年委員は学校や地域などいくつものコミュニティを飛び回る地域人です。必然的に顔も広くなり、犬も歩けば的に出会うわけですね(笑)。そんなところにも委員の活動の充実ぶりを感じながら、身近に出来た施設の課題や可能性などを語り合うことができました。

(山崎 愛)



第2ブロック

今年度の2ブロックは、新しい委員を1名迎え、14名のスタートとなりました。小学校15校、中学校8校からなるブロックです。

11月16日のブロック研修は、久しぶりに杉並区を出て、国会議事堂の衆議院見学に行きました。修学旅行や社会科見学などの時期と重なり、1,200名の見学者がいたため、簡易参観となりましたが、美しい重厚な建築に触れ、日本の長い議会政治の一端を感じることができたのではないかと思います。

昨年度のブロックでの意見交換会を通じて、学校区ごとの違い、共通の課題を認識したものの、今年度はそれを深めることができませんでした。ブロック研修は、施設見学と思いがちですが、来年度は他学校区を知ることを目的とした、ブロック内の学校訪問などを行うのもいいのかもしれない。

今年度は青少年委員制度発足70周年ということで、部会ごとの活動に追われた1年となりましたが、全体会やブロック別定例会後に会合を設け、その都度親睦を深めてきました。1年が終わろうとしている今、私たちは青少年委員としての経験を通して、それぞれが研鑽を重ね、成長し、固い結束と深い絆が生まれたと思っています。敢えて断言します、2ブロックの繋がりは旧知の中の如く一番であると。

そんな2ブロックですが、新年度に向けて、メンバー全員が一致団結し、いつも笑顔で協力しながら、更なる高みを目指して邁進していきたいと思います。

(目黒 由美)





第3ブロック

今年度、5月8日よりコロナの扱いが5類となりました。約3年間は、事業や活動をやむを得ず中止するか、それ以前とは違った「できることをやる」という試行錯誤の時期でした。

70周年の年度でもある今年度の3ブロックは、事業や活動を改めて考えるためにも、知見を広げる意味で「お互いの事業を知り合うこと」をブロック研修としました。

一緒のブロック同士とは言え、実際に参加や見学し合ってみて、改めて気付きや参考になることが大変多くありました。参加や見学を実施した委員は、ブロックLINEに感想や意見をアップし、お互いの功績を讃えたり励ましたり、全員で情報共有することで、より相互理解を深めることができたように感じています。

10年前、3ブロック内の区立学校は、済美養護学校と、小学校16校、中学校9校という構成でしたが、学校の再編やブロック区割りの変更などを経て、現在は、済美養護学校と小中一貫教育校の高円寺学園、小学校11校、中学校6校とコンパクトになりました。そして今年、旧杉四小跡に10月7日、科学体験ラボ施設「IMAGINUS」がオープンし、旧杉八小跡地も公園の他複合施設として、建設が進んでいます。又、8月1日にセシオン杉並もリニューアルオープンされました。次々とハード面は新しくなっていく高円寺地域です。

時代の流れを感じつつも、3ブロックのメンバー同士は、今まで以上に交流を深め、横の繋がりを大切にソフト面の充実を図り、新たな10年後に繋がる活動ができることと思います。(宮内 康子)



【専門部活動報告】 地域交流部

今年度は主に、「青少年委員制度発足70周年」の記念行事に向けて活動をしてきました。また、毎年の地域交流部の主な活動である他団体との交流会は、70周年記念講演会の来賓としてご挨拶いただく区長に、まず私たち青少年委員の活動を知っていただきたいとの思いから懇談会をお願いしました。区長の人柄に触れ、また私たちの日頃の活動や思いを知っていただき、和やかで有意義な懇談会となりました。派遣活動では、ファミリー駅伝と4年ぶりに開催されたふれあい運動会へのスタッフ派遣依頼があり、協力しました。(若井 比呂子)

杉並区長との懇談会

日 時：令和5年12月21日(木)

場 所：区役所 第3・4委員会室

この日、青少年委員と岸本区長との懇談会が杉並区役所で開催されました。

岸本区長が扉から入って来られると、青少年委員から大きな拍手がわき起こりました。着席されたところで、まずは、地域交流部で作成した資料を投影しながら、青少年委員の活動を説明しました。とても関心を持って聞いてくださいました。岸本区長からもご自身の子どもの頃のお話から区長選のお話まで伺う事ができました。話はSNSの治安の悪さや、部活動の外部指導員について、地域づくり、だんだんと数が少なくなっていく児童館の在り方、子どもたちの居場所づく





り、区民センターの集会室をもっと子どもたちのために有効活用できないかなど、子どもを中心とした話や意見交換がされました。時間が過ぎても話は尽きず、終始和やかな雰囲気の中行われた懇談会でした。

最後は岸本区長を囲んで、記念撮影で終了となりました。柔らかな語り口調と時々覗かせる強さ、常に子どもたちのことを考え、発言なさっていたという印象と我々青少年委員と気持ちは同じところにあるのではないかという思いの残る懇談会でした。(小林 朱実)



第60回 ふれあい運動会

開催日：令和5年10月7日(土)

場 所：杉並第十小学校校庭(蚕糸の森公園運動場)

障害のある方もない方も楽しめるこの運動会は、コロナ禍の中止期間を経て、久しぶりに開催されました。

当日は風があって寒いながら、明るい日差しに恵ま



れました。大勢集まって、仲間の顔を見る、そのこと自体の楽しさみたいなものが伝わってくる開会式、準備体操を兼ねてのダンスは、来賓として居合わせた区議会議員のみなさんも一緒に体を動かしました。

青少年委員は主に、「パン食い競争」や「リレー」で、参加者を出走順に並ぶよう補助し、スタートラインまで誘導するという役目でした。ただ最初は、誰が出走者で、誰がスタッフなのかを判別するのに一苦労。というのも、施設スタッフが伴走として一緒に走る方もあれば、車椅子に乗ってはいるが運動会にはコロナ禍前からというベテラン参加者もいたからです。たぶん、青少年委員以外にも「ふれあい運動会の手伝いは初めて」というスタッフは多かったはず。それにも関わらず、滞りなく終えられたのは、運営スタッフの力と参加者の協力のお陰です。普段は見えないけど、人を支えることで社会を支えている人たちが、いたるところにいるんだなあということを実感した1日でした。(日吉 朋子)



ファミリー駅伝

開催日：令和6年2月25日(日)

場 所：杉並第十小学校校庭(蚕糸の森公園運動場)

事前の「スタッフ説明会」に参加して当日に備えていましたが、雨天のため中止となりました。



研修部

今年度は、教育委員会主催の基礎・実技・委員研修の3つの研修を行い、青少年委員として地域との関わりの中で「子どもたちの思い」をどう大切にしていってら良いか、あらためて考えました。

また、協議会主催の自主研修では、雅な雰囲気の中で70周年の記念事業やこの10年の研修を振り返りながら、年度最後に委員間の懇親も深めることができました。時間をかけ内容の検討を行った甲斐あって、モチベーションがアップするような研修になりました。

(山本 真由美)

<基礎研修>

日 時：令和5年5月18日(木)

場 所：杉並区役所 第4会議室

「地域住民や教員との信頼関係を築くために」

第一部

講 師：IT企業教育分野担当 前田 小百合 氏

「ノウハウを共有しあって、より安心して、より楽しく、青少年委員の活動をしませんか？」

第二部

講 師：杉並区教育委員会事務局 学校支援課

指導主事/社会教育士 岡部 洋右 氏

「そうだったんだ、学校の先生」

私たち青少年委員は、子どもたちが健全に成長できる環境を整える活動を主としています。家庭・地域・学校の協力が何よりも大切ですが、そのためには相互理解や信頼関係が欠かせません。



研修の第一部では個人情報やプライバシー等のセキュリティに十分配慮したうえで、IT等を利用した円滑なコミュニケーションや連絡の取り方を学びました。

第二部ではお忙しい学校の先生と良い関係を築くためのヒントが得られました。

コロナ禍を経てデジタル化が進みましたが、会議等開催の通知はいまだに封筒入りの手紙を希望する方もいます。案内状を作成し、出欠確認をまとめるだけでもひと仕事です。地域の子どもの育成に関わる人たちの良い関係性を築くことに注力するためにも改善点を見直すことの大切さに気付きました。

青少年委員の活動に限らず、人間関係の基本は相手に対する思いやりだと思いますが、今日の研修を活かして、お互いに負担の少ないコミュニケーションの在り方を求めています。

(新留 敬子)

<実技研修>

日 時：令和5年9月21日(木)

会 場：杉並区役所 第4会議室

講 師：一般社団法人 顔面体操協会会長

古代 眞琴 氏

テーマ：レッツ！コミュニケーション

～心も体も元気になる顔面体操

講師の古代さんは、当時人気のオーディション番組で歌手デビューし、吉本興業で長くボイストレーナーだったこともあり、声がとても聞取りやすい！現役時代の北海道から沖縄まで3ヶ月半でマラソンを





して営業した時、トライアスロンに目覚め今も続けていて、口腔医学者とレースで出会った事がきっかけで顔面体操を始めたそうです。

なぜ、顔面体操が必要なのか？多くの方は、近年続いたマスク生活で自然と顔面の筋肉量が低下している。これは、嚥下能力の低下や、鼻呼吸からドライマウスになり口中の細菌が繁殖してしまう要因となっている。いくら体(首から下)の筋トレをしても、顔面筋肉を強化しないと、老化はもちろん認知症やさらに大きな病気の要因になる。その予防対策です。

実践では、6種類を教わりました。(顎関節の強化・口輪筋の強化・小鼻を膨らます・ほっぺを膨らます・表情筋の運動・顔をキューと小さくからのアカンペー)体操毎に丁寧なポイント指導の後、全員でトライ。みな顔を講師に向けているため、正面の古代さんにはとても面白い光景だったと思います。時々入るジョークやエピソードも楽しく、気づけば時間オーバーに。他の運動もトライしてみたいです。

(土佐 愛)

<委員研修>

日 時：令和5年11月30日(木)

会 場：セッション杉並 講座室

講 師：早稲田大学教授 卯月 盛夫氏

テーマ：「子どもたちと社会を創るー教える関係から、共に発見し合う関係へ」

講師の卯月先生は、早稲田大学院修士課程修了後、ドイツのシュトゥットガルト大学に留学、同市の都市計画局などで勤務され、帰国後は世田谷区で13年間まちづくりに携わってこられました。そして、ドイツのミュンヘン市の「ミニ・ミュンヘン」と高知市の事例を通して、子どもの主体的なまちづくり活動を考えておられます。

7歳から15歳までの子どもだけが運営する小さな都市「ミニ・ミュンヘン」では、自分の好きな職業を見つけて、ハローワークで仕事をもらい、これからの人



生に必要なさまざまなことを学ぶことができます。

「こうちこどもファンド」のお話では、子どものまちづくり参加は、大人を巻き込み、多世代の参加と交流を促す効果があり、地域全体が活性化されると伺い、子どもの力は凄い！と思いました。

子どもたちの自主的な行動をとにかく見守る、大人からではなく先輩から学ぶ、これを継続することによりそこからまた子どもが育つ、青少年委員の活動としてとても理想的な形のお話でした。

改めて、これからも子どもたちの主体性を大切に、やりたい事や伝えたい事に寄り添えるような活動をしていきたいと感じた研修でした。

(椎野 玲子)

<自主研修>

日 時：令和6年2月8日(木)

場 所：ホテル雅叙園東京

今年度の自主研修は、“日本美のミュージアムホテル”ホテル雅叙園東京「百段階段」見学と懇親会でし





広報部

た。「百段階段」とは通称で、ホテル雅叙園東京の前身である目黒駅雅叙園3号館にあたり、1935年に建てられた館で現存する唯一の木造建築になるそうです。「百段階段」と呼ばれていますが、実際は99段しかありません。これは「奇数は縁起が良い数だから」とか「未完の美学」など諸説あるようですが、私は「未完の美学」に1票投じたいと思いました。

当日は“千年雛めぐり～平安から現代へ受け継ぐ想い～百段雛まつり2024”が開催されていて、百段階段の合間合間にある畳の部屋ごとに様々なお雛さまが展示されていました。どの部屋も趣向を凝らした世界観があり、まるで雛御殿に迷い込んだかのような気持ちになりました。百段階段の雰囲気や佇まいがとても素敵なので、その場所にいるだけでタイムスリップしたような気持ちになる不思議な時間でした。

見学後は歴史ある素晴らしい部屋での懇親会。70周年記念事業の振り返り、そして5期の任期を満了される方々からの思い出エピソードやエールの言葉をいただきました。雅叙園の「雅」な雰囲気を感じながら親睦を深めることができました。伝統を大事にしながら新しい形を取り入れている雅叙園、私たち青少年委員の活動も同じだと感じる嬉しい1日となりました。

(安部 音羽)



青少年委員の活動を多くの方々に理解していただくため、年に2回「青少年委員だより」を発行していますが、今年度は青少年委員制度が発足してから70年目となる記念の年であることから【青少年委員制度発足70周年記念号】として発行を1回とし、過去10年間の活動の写真を掲載しました。また、現在の青少年委員の紹介として、ご覧になった方が自分の地域の担当の青少年委員の名前と顔がわかるように、ブロック毎に分かれた地図と合わせて顔写真とともに担当校を紹介しました。さらに、私たちの活動内容を知って、理解していただけるように、活動内容もわかりやすくまとめて掲載しました。

3月には1年間の活動のしめくくりとして、「実践集録」を発行しました。

今年度は、各中学校区での取組の紹介で、『青少年委員制度発足70周年』記念事業として区役所の1階ロビーとセシオン杉並展示室で展示していた各中学校区の懇談事業・子ども地域活動促進事業・地域教育推進協議会事業のパネルの原稿も一緒に掲載しました。

青少年委員として何ができるのか、広報紙を通じてお伝えできればと思っています。発行にあたりまして、ご協力いただきました皆様方に感謝を申し上げます。

(中尾 由加子)





【協議会活動】

第14回すぎなみ舞祭

開催日：令和5年10月15日(日)

場 所：下高井戸おおぞら公園

「子どもが主役」のダンスイベント、舞祭は首都圏を中心に国内約20か所で開催されており、「すぎなみ舞祭」は2008年に始まりました。踊りのコンテストに加えて、たくさんの屋台が出店したり、スタンプラリーや小さな子どもが遊べるキッズコーナーが設けられたり、ちびっこから大人までみんなが一日楽しめるお祭りです。地域に根付いた催しですので、私たち青少年委員も受付・案内やグッズ販売、コンテストの表彰状の刷りだし等の担当として毎年参加しています。コロナ禍期間中は中止や規模の縮小を強いられましたが、昨年度から通常の開催に戻っています。

今年は朝からあいにくの冷たい雨、ダンスコンテストの開始も約30分繰り下がるプログラムでした。悪天候にもかかわらず、ヒップホップやジャズダンス、チア、そして「すぎなみ舞祭」オリジナル曲パフォーマンスと、さまざまなジャンルが華麗に披露されました。

閉会式が始まると、熱い魂の舞が雨雲を消し去ったかのように雨が止み、コンテストの参加者一同による笑顔の総踊りで締め括られました。皆が帰宅の途につく頃夕空に虹が現れたのは、一日の活躍への労いだったのかもしれませんが。

(新留 敬子)



杉並区中学校対抗駅伝大会2023（第24回）

開催日：令和5年12月10日(日)

場 所：都立和田堀公園陸上競技場(済美山運動場)

12月とは思えない暖かい日差しの中、「中学校対抗駅伝大会2023」が開催されました。今回は高井戸中と富士見丘中の吹奏楽部が応援の演奏に、泉南中の演劇部がアナウンスに参加して駅伝大会を盛り上げてくれました。

まず女子の部。区長によるピストルのスタートの合図で一斉に走り出しました。大宮中の第一走者が、2位の西宮中を大きく引き離して第二走者へ襷を繋ぎました。少しずつ距離を詰めて結果、西宮中が第1位となりました。

男子の部のスタートの頃には日差しが高くなり、気温もだいぶあがっていました。そのためか、ゴールと同時に倒れ込む様子が見られました…襷を受け取り、勢いよく走りだし全力を出し切っていたからでしょう。男子の部の1位は南相馬市でした。「颯爽と駆け抜ける若武者のような走りや優勝を目指して頑張ります！」の意気込みコメントのとおり走りのできたのでしょう。南相馬市は招待チームでしたので、2位の向陽中が優勝となりました。

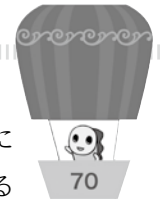
来年度は済美山運動場の改修のため開催場所が変更になるそうです。場所は未定ですが、どこで開催されても中学生のパワーは発揮されることでしょう。

(会田 洋子)



青少年委員制度発足70周年記念イベント

～青少年委員の過去・現在・未来～



青少年委員制度発足70周年記念事業は「青少年委員の過去・現在・未来」をテーマに、皆様に様々な形で知っていただこうと青少年委員一同頑張ってきました。「過去」は広報部による記念誌の発行、「現在」は研修部によるパネル展示、そして70周年記念講演会は「未来」、地域交流部が「子どもたちが未来へ向けて明るい希望を持ち、自分らしく生きられるように」をテーマに企画しました。

「ナイスガイの須貝です」という自己紹介とともに現れた須貝さんの登場に、場内は一気に盛り上がりを見せました。野球がお好きだったという須貝さんの幼少期の話、どうやって勉強ができるようになったのか、杉並区にお住まいだった東大生時代の話、国語の重要性、QuizKnockの話、いかにして須貝さんらしく仕事をされているのか、そして自分らしく生きるにはどうすることが一番大切なのか、お話の全てが興味深く、会場の子もたちをひきつけていました。ときおり客席において子どもたちにマイクで意見を聞いて、その意見の一つ一つにとっても素敵な対応をしてくださる須貝さんに、子どもたちも心を開いてどんどん自分の意見を発してくれるようになっていました。そのときそのとき好きなこと、夢中になれることを見つけて、それを極めようと頑張ることが自分らしさを磨いていく、という須貝さんの言葉は、情報過多で先のことを考えてすぎてしまいがちな現代の子どもたちの心にどう響いたでしょう。これから幾多の困難があったときにも心の支えになってくれるのではないのでしょうか。

青少年委員として今後青少年と関わっていくなかで、夢中になれることとの出会いのお手伝いをしたい、このような素敵な考え方を伝えていける大人でありたい、と感じた講演でした。

(渡辺 春香)



● 広報部 ● 青少年委員の過去10年の活動紹介



広報部は過去10年間の青少年委員の活動を紹介できるように、平成26年からのすべての研修、他団体交流、ブロック研修、各中学校区の地教連・地教推の事業を調べて作成しました。この70周年記念誌がこの10年間の思い出となり、次の10年の活動の参考になることを願っております。

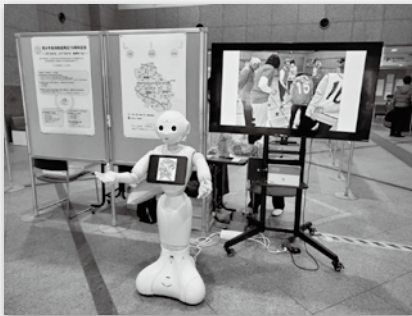
(中尾 由加子)



●研修部● 青少年委員の現在をパネルで伝える

パネル展示

- ①開催日：令和6年1月17日(水)～19日(金)
場 所：杉並区役所 1階ロビー
- ②開催日：令和6年1月27日(土)
場 所：セッション杉並 展示室



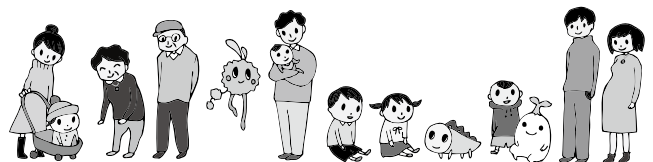
研修部は、『青少年委員制度発足70周年』記念事業として日頃の青少年委員の活動を伝えるべく「パネル展示」を2か所で行いました。企画も内容もゼロからのスタート。皆で意見やアイデアを出し合い、力強い青少年委員、支援課の皆様はじめ多くの方々のご協力を得て、約一年かけて作り上げました。サブタイトルは「人をつなげる 心がつながる 笑顔をつなぐ」、素晴らしい展示になりました。区役所の会場では、ペッパーくん(人型ロボット)がお出迎え。参観している方とお話ししながら、アンケートへの回答もお願いしました。セッション杉並では、記念講演を聴いた方々が立ち寄り、各中学校区などの活動紹介を興味深くご覧になってい

ました。「パネル展示」を通して青少年委員のことを少しでも知ってもらえたことを大変嬉しく思います。

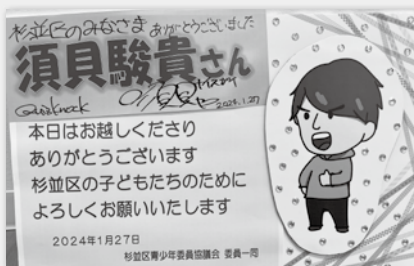
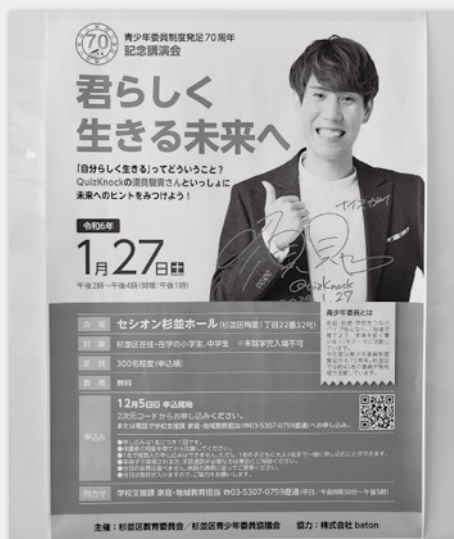
例年にも増して忙しい中、皆で愉しみながら充実した時間を過ごしました。青少年委員ってやっぱりスゴイ!この経験は、きっとこれからの活動にも活かされていくと確信しています。

皆様に「感謝」です。

(山本 眞由美)



●地域交流部● 青少年委員が子どもたちの未来のためにできること



- 開催日：令和6年1月27日(土)
- 場 所：セシオン杉並ホール
- 講 師：QuizKnock 須貝駿貴さん
- テーマ：君らしく生きる未来へ

地域交流部は子どもたちの「未来」をテーマに、リニューアルオープンしたセシオン杉並のホールでの講演会担当となり、テーマに沿った内容にするため、どのような形で進めるか、またどのような方に講話や講座をお願いするか検討を重ねた結果、今子どもたちに大人気の職業のYouTuberでもあるQuizKnockの須

貝駿貴氏にご登壇いただくことになりました。当日は総力を挙げて参加者をお迎えし、子どもたちはもちろん大人も楽しめる企画となりました。(若井 比呂子)



各中学校区での取組

杉並区青少年委員は、原則として各中学校区に2名が杉並区教育委員会から委嘱され、概ね中学校区ごとに組織されている「地域教育連絡協議会(地教連)」または「地域教育推進協議会(地教推)」の運営に携わっています。

●地域教育連絡協議会(地教連)

*各中学校区ごとに組織され、小学校・中学校の先生、PTA、その地域の方々に構成されています。

◇懇談事業

*年間テーマを決め、年に数回、懇談会や講演会を開催し地域の情報交換の場になっています。

◇子ども地域活動促進事業(子促)

*各中学校区ごとに、お祭りやコンサート、ゲーム等さまざまな催しが実施されています。

*子ども実行委員会が中心となって企画し、各小学校・中学校の子どもたち、PTA、地域の皆さんの協力と参加があります。

●地域教育推進協議会(地教推)

*地教連の発展的な取組です。0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、子どもたちが健やかに育つ地域の実現に向けて活動しています。

① 中学校区名 地教連・地教推 (担当青少年委員)

令和5年度 懇談事業開催一覧	令和5年度 子ども地域活動促進事業開催一覧
② 会長名 ③ 年間テーマ ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容	② 実行委員長名 ③ 事業名 ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容(ねらい、特色など)

※地教推の事業は、懇談、子促の区別はありません。

今年度は、『青少年委員制度発足70周年』記念事業として、区役所1階ロビーとセシオン杉並展示室で展示した青少年委員の活動を各中学校区ごとに紹介するパネルの原稿も一緒に掲載しております。





① 高南中学校区地教連（宮内康子・鈴木里栄）

子ども真ん中 地域教育ってこうなんです！

最 高南祭 ～おいでよ このオアシスに～

日時 令和5年9月9日（土）14時～16時
 場所 高南中学校体育館、ピロティ、金工室
 内容 吹奏楽部演奏、ステージショー、謎解き、お手玉ゲーム、だるま落とし、ポップコーン、わたあめ、制服リサイクル、地教連ブックカフェ
 実行委員 高南中学生27名、杉三小学生2名、杉十小学生4名
 参加人数 540名

4年ぶりの入場制限のない「高南祭」！当日は天気も良く、大勢のお客様でにぎわいました。実行委員の小中学生は、高南中学校が地域の「オアシス」になるよう笑顔でお客様を迎えました。自分達で作上げていった「高南祭」に大きな達成感を得ることができました！



青少年委員 鈴木・宮内

高南中のここがすごいんです！

高南中を卒業しても、3名の高校生が「サポーター」として実行委員会に参加し、中学生にアドバイスをしてくれました。卒業してもずっとつながりを持てる場所がすごいんです！生徒の作成したポスターもすごいんです！駅などに貼らせていただき、駅員さんからイラストの質の高さを褒めてもらいました。

懇談事業	子ども地域活動促進事業
② 志達 和雄(和田三丁目東町会前会長) ③ 話してみよう 「子ども真ん中、地域教育ってこうなんです！」 ④ R5.6.12(月) 16:00～17:30 ⑤ 高南中学校 視聴覚室 ⑥ 31名 ⑦ 趣旨説明・前年度活動報告・決算報告・年間テーマ・活動予定・メンバー紹介・子促内容・各学校の様子・グループ懇談	② 志達 和雄(和田三丁目東町会前会長) ③ 高南祭 ④ R5.9.9(土) 14:00～16:00 ⑤ 高南中学校 体育館・ピロティ・金工室 ⑥ 540名 ⑦ 昨年度、招待者を限定した形で3年ぶりに開催した高南祭。今年度は入場制限なしで食べ物コーナーも復活しました。昨年に引き続き今年も実行委員を応募。33名(内6名は小学生)が実行委員になり、全9回の実行委員会を開催。企画・準備・当日の運営をすべて委員が行いました。内容は吹奏楽部の演奏、ステージショー、謎解き、お手玉ゲーム、だるま落とし、ポップコーン、わたあめ、オアシス、制服リサイクル、地教連ブックカフェ。小学生に高南中を知ってもらい、楽しみながら交流を深めることを目的としており、委員の活躍により、笑顔があふれる素晴らしい高南祭になりました。また、地教連ブックカフェでは、好きな本・おすすめの本を持ち寄り、地域の方々と自然に会話が弾み、有意義な時間をもつことができました。卒業生、PTAや地域の方々に支えてもらい、にぎやかな高南祭になりました。
④ R5.11.17(金) 14:00～15:30 ⑤ 高南中学校 視聴覚室 ⑥ 29名 ⑦ 活動報告・次年度の事業内容及び協議会メンバー・各学校の様子・高南祭についての感想・情報交換	




① 杉森中学校区地教連（泉市清子）

杉森祭

2023.11.25（土）
会場：杉森中学校
参加人数約400人

今年で19回目。杉森中学校の近隣の小学生（杉一・馬橋）を対象に、部活動体験や各部が考えたアトラクションをスタンプラリー形式で楽しむイベント。先生方のご指導の下、実行委員と生徒会、PTAの皆さんが企画運営しています。10月半ばからという短い準備期間ですが、素晴らしいチームワーク！当日の小学生への最高のおもてなし！毎回、小学生も中学生も大人たちも笑顔いっぱいのお祭りです。



スタンプラリーシート&部活紹介




校内も校庭もアトラクションがいっぱい



祭の成功をかみしめる実行委員



ポスター色々



参加部活&PTA
吹奏楽部、美術部、コンピュータ部、ハンドメイド部、児童絵本研究部、サッカー部、ダンス部、男女バスケットボール部、男子テニス部、女子テニス部、卓球部、野球部、PTA



担当：泉市 清子

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 青山 享 (杉並区保護観察会会長) ③ 地域と共に子どもたちの「生きる力」を育む ～つなごう、地域の和～</p> <p>学校、周辺地域の状況により計画できず、残念ながら実施できませんでした。</p>	<p>② 青山 享 (杉並区保護観察会会長) ③ 杉森祭 ④ R5.11.25(土) 9:30～11:30 ⑤ 杉森中学校 ⑥ 400名 ⑦ 各小中学校の先生方のご協力のもと、近隣の小学生を対象に部活動体験&スタンプラリーを実施しました。各部から実行委員を選出し、生徒会、PTAの方々で企画・準備を進めてきました。アトラクションや部活体験に真剣に取り組む小学生と膝をかがめて優しくサポートする中学生の姿は毎年とても微笑ましく、笑顔いっぱいで帰る小学生の姿に中学生は将来につながる何かを得たようです。</p>



① 阿佐ヶ谷中学校区地教連（椎野玲子・諸橋記子）

「小中一貫教育と阿佐ヶ谷中学校区」

日時: 11月29日(水) 10:00~11:30
会場: 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室
参加者: 35名

筒井鉄也先生
岡部洋右指導主事

今回はグループセッションをあえて行わず、講師から小中一貫教育とは何か、阿佐ヶ谷中学校区では具体的にどんな取り組みが進められているのかについて丁寧にお話いただき、のちに質疑応答の時間を設けました。



小中一貫教育が
子どもたちの学びの連続性を保障する



◆ 近年の子どもの心身の成長発達に変化（早熟化、個人差）する中で学校制度との不適合が起こっている。
小学校、中学校という学校段階よりも「義務教育」という枠組みを重視することが必要な現状。

▶ **小中一貫教育**

◆ 阿佐ヶ谷中学校区は、本年度「道徳科」において教員が三校合同で研修を行い、各校の授業を公開。

◆ 杉六小、杉七小の児童が阿佐ヶ谷中を訪問して授業体験(部活動体験を含む)。

講演内容抜粋



参加メンバー 町会・自治会長、民生児童委員、地域区民センター会長、近隣幼稚園長、近隣保育園長、各校保護者、杉並警察署、児童館長、青少年育成委員会会長など

3校(阿佐ヶ谷中・杉六小・杉七小)の豊かな文化を 互いに生かし合いながら、さらに深めていきたい





阿佐中



杉七小



杉六小

- ・こうした取り組みをしていることを、もっと保護者にも周知して欲しい。
- ・地域の自治会長などにもっと子どもたちが地域で活躍する姿を知らせて欲しい。
- ・年に一度でもいいから場を作って欲しい。
- ・先生同士、児童・生徒同士の連携はされているが、保護者世代の連携はなかなか進んでいないのかも。学校単位を超えた地域の保護者のネットワーク、できれば地域の町会の方々の顔の分かるようなネットワークづくりができたらいいな。

うちの地域ってスゴイんです！

- ・10年前から小中連携、小小連携に取り組んでいる。
- ・地域の行事がすごい！パルセンター阿佐ヶ谷七夕まつり、高円寺阿波踊り、杉七盆踊り、馬橋どんど焼きなど…
- ・とにかくおやじの会がババフル。阿佐ヶ谷中では夏休みにBBQ&花火大会が開催され、小さなお子さんからご年配の方までたくさんの方々が遊びに来る。
- ・おやじの会と言えば“焼きそば”。門外不出の秘伝の焼き方があるとかないとか。



青少年委員
椎野玲子 諸橋記子

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 齋藤 健一(阿佐ヶ谷中学校校長) ③ 子どもをとりまく環境と「学校・家庭・地域」の連携について ④ R5.7.14(金) 10:00~11:30 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室 ⑥ 37名 ⑦ 杉並警察署生活安全課の村木課長に「#BAN 闇バイト～甘い誘いにご用心」について講演していただき、その後、講演の感想と、「ゆるやかな地域のつながりを再生していくためにできそうなことって？」をテーマにグループ毎に話し合い情報を共有しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 齋藤 健一(阿佐ヶ谷中学校校長) ③ ようこそ先輩 ④ R5.12.2(土) 9:35~10:20、10:40~11:25(2、3時間目)・R5.12.9(土) 8:40~9:25(1時間目) ⑤ 杉並第七小学校・杉並第六小学校 ⑥ 杉六小・杉七小6年児童 ⑦ 地域活動ボランティアを募集し、二つの事業に取り組みました。一つ目は「ようこそ先輩」です。35名の阿佐ヶ谷中ボランティアが杉六小、杉七小6年生の土曜授業に出向き、タブレットで準備した映像を交えて、中学校生活についてリアルに伝えました。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R5.11.29(水) 10:00~11:45 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室 ⑥ 35名 ⑦ 前久我山小学校校長の筒井鉄也先生と指導主事の岡部洋右先生をお迎えし、「杉並の小中一貫教育と阿佐ヶ谷中学校区」について講演していただきました。その後、質疑応答と感想の発表、参加者の方にアンケートを記入してもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 春の子どもまつり ④ R6.3.2(土) 13:30~16:00 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 アリーナ/家庭科室/開放会議室 ⑥ 533名 ⑦ 春の子どもまつり開催にあたっては、杉六小、杉七小の5・6年生からもボランティアを募り、どんなイベントにしたいか、阿佐ヶ谷中ボランティアが中心となって話し合いをすすめながら準備しました。

18



① 東田中学校区地教連（鈴木春乃・神戸朱里）

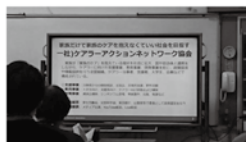
善福寺川緑地沿いに建つ東田中学校は、
自然豊かな環境と広大な校庭
ほっと一息つけるベンチが置かれたレンガ敷き
の中庭が自慢です♪
そんな東田中学校を中心に活動している東田中
学校区地域教育連絡協議会では、春に懇談会、
冬に講演会を開催しています。



懇談会

日時：令和5年6月30日
場所：東田中学校 第二会議室
参加人数：23名

今年度、4年ぶりに開催された懇談会では、近隣保育園、小・中学校、都立高校関係者の方々をはじめ、地域の皆さまにご出席いただき、活発な意見交換が行われました。



講演会：ヤングケアラーについて理解を深める

日時：令和4年度3月1日
場所：杉並第二小学校 家庭科室
参加人数：21名

自分たちには縁遠い話かと思いましたが、講演会を聞いて、実はとても身近なことだと気がつきました。困っている子どもたちに気づいて寄り添えるような大人でありたいなと感じました。



青少年委員 神戸朱里 鈴木春乃

懇談事業

- ② 坂本 聖二（東田中学校校長）
- ③ 「心を育てる」
～家庭・学校・地域の役割とその連携を深める
- ④ R5.6.30（金） 14:00～16:00
- ⑤ 東田中学校 第二会議室
- ⑥ 23名
- ⑦ 4年ぶりに縮小のない懇談会を開催しました。ランダムにグループに分かれ、それぞれの近況報告やどのように子どもたちと関われるか等、活発な意見交換が行われました。
- ④ R6.2.27（火） 14:00～16:00
- ⑤ 東田中学校 第二会議室
- ⑥ 24名
- ⑦ “特定非営利活動法人みんなのコード”の福田晴一先生をお迎えし、「生成AIによる学校教育、どう変わる…?」について、グループワークを含めて楽しく体験型の講演会をしていただきました。

子ども地域活動促進事業

- ② 福田 友紀（東田中学校PTA会長）
- ③ エニシングOK！
- ④ R6.3.3（日） 10:00～12:00
- ⑤ 東田中学校 調理室
- ⑥ 10名
- ⑦ 母親クラブ「三色すみれ」の中村万知子さんにお手伝いいただき、簡単!美味しい! 災害の時にも役立つ! 「バッククッキング」のイベントを開催しました。メニューは「焼きそばと蒸しパン」混ぜて包んでお湯にポン、後は待つだけ。試食タイムも和気あいあい、楽しい雰囲気で開催する事が出来ました。「こんなに簡単だと思わなかった!」「思ったより美味しくビックリした」「家でもやってみたい」等々とても好評でした。



① 松溪中学校区地教連（目黒由美・村木由紀）

あそび市

実施場所：杉並区立 松溪中学校 【杉並区荻窪 2-3-1】

荻窪児童館 職員の方々

「あそび市」はもともと荻窪児童館のお祭りとして始まったものですが、現在は、松溪中学校区子ども地域活動促進事業と西田小学校地域子育てネットワーク事業の合同行事として実施しています。

松溪中学校、西田小学校を中心に桃井第二小学校、高井戸小学校も含め4つの学校を取り巻く地域のさまざまな団体、グループ、大人や子どもたちが集まって行う地域の大きなお祭りです。

うまく釣れるかな？

松溪中学校吹奏楽部

準備も楽しいな

令和4年11月5日（土）

参加人数 1,260名
乳幼児 197名・小学生 421名
中学生 94名・大人 548名

コロナウィルスや気候に左右され、長らく開催できなかった「あそび市」令和4年度の松溪中生は、「あそび市」の経験値が少なくても、準備・片付けも率先して動き、当日、大人の指示を待つことなくホスト役を務めました。

缶パッチコーナーでは、握力の小さな幼児に優しく寄り添い、ペンシルバルーンコーナーでは、幼児の目の前で器用に作品を作り上げ、幼児の笑顔を引き出していました。

残念ながら令和5年度の「あそび市」は感染症拡大の影響で中止となりましたが、松溪中生が次年度以降も地域の一員として、充実したボランティア活動ができると確信しております。

ペンシルバルーン
いかがですか？

『つなげよう ひろげよう 子どもにとってあたたかい地域』

「あそび市」を通して、松溪中生や西田小生が地域の一員として活躍することを期待しております。

中学生においては「憧れる松溪中生」となることを目指し、私たちがこれからのボランティア活動を応援します。

青少年委員 目黒 由美 村木 由紀

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 武井 広子(松溪中学校PTA会長)</p> <p>③ 「つなげよう ひろげよう 子どもにとってあたたかい地域」</p> <p>④ R5.6.28(水) 13:30～15:00</p> <p>⑤ 松溪中学校 ランチルーム</p> <p>⑥ 27名</p> <p>⑦ 新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、行動制限が緩和した為、今年度の「あそび市」が10月に開催できることを報告しました。感染予防対策を講じながら、活気ある「あそび市」を目指したいことをお伝えしました。また、各団体に自己紹介・活動報告を手短かにしていただきました。</p>	<p>② 武井 広子(松溪中学校PTA会長)</p> <p>③ あそび市</p> <p>④⑤⑥ 感染症拡大の影響で中止</p> <p>⑦ 「あそび市」は子育てネットワーク事業と、中学生主体の子促事業が連携して行われる地域のお祭りとして、乳幼児から大人までの参加があります。中学生ボランティアの自主性を引き出す取組として、生徒会を中心に活動を進め、地域の様々な団体のご協力をいただきながら、運営しています。今年度は感染予防の観点から、飲食ブースは実施せず、中学生ボランティアの自主性を中心に活動できるように企画しました。残念ながら、感染症拡大の影響で中止となりましたが、次につなげられる準備ができました。来年度こそ、地域の方々をおもてなしする松溪中生の笑顔が見られるように、各団体と連携していきたいと思っております。</p>
<p>④ R6.2.22(木) 14:00～15:30</p> <p>⑤ 松溪中学校 ランチルーム</p> <p>⑥ 26名</p> <p>⑦ 今年度の事業報告及び、各団体の活動報告、情報交換を行いました。情報交換として、駐在所の飛田氏より、警視庁警備部災害対策課のX(旧Twitter)の紹介がありました。地域のつながりは災害時に大きな助けとなるようです。改めて「自助・共助」の大切さを認識しました。</p>	



① 東原中学校区地教連 (河野知恵子)

地域の大人が 知り合い・繋がり・交流する

第1回 懇談事業開催

日時： 令和5年6月30日(金) 14:00-16:00

場所： 東原中学校 特別活動室

参加人数：20人(大人)



地域で会議はいくつかあり、顔を合わせる機会はあるものの、「お互いのことをゆっくりに知り合う機会、実はあまりないですね！」ということで、今回はプライベートのことも含め、お互いを知り合う場をつくりました。



■びっくりするほど盛り上がりました■
新しい交流が生まれるように、ランダムにグループ分けをしてみました。時間になっても、なかなか止まらないほどの大盛り上がり！
みなさんの繋がるエネルギーがすごい！！東原地域のパワーを感じました。

青少年委員
前田小百合



懇談事業

子ども地域活動促進事業

- ② 岩本 真由美(東原中学校校長)
- ③ 子どもたちの育ちを支える地域コミュニティづくり
- ④ R5.6.30(金) 14:00~16:00
- ⑤ 東原中学校 特別活動室
- ⑥ 20名
- ⑦ 「地域の大人が知り合い・繋がり・交流する」をテーマに、地域の会議で顔を合わせる皆さんの「お互いのことをゆっくりに知り合う機会」をつくりました。新しい交流が生まれるようランダムにグループ分けをしてみました。時間いっぱい盛り上がり、みなさんの繋がるエネルギーを感じました。

- ④ R6.2.29(木) 10:00~12:00
- ⑤ 東原中学校 多目的室
- ⑥ 24名
- ⑦ 区立施設「ゆう杉並」の取組や利用する中高生の様子を中心に、職員の方から杉並区の子どもの居場所づくりのお話をうかがいました。「地域の子どもの居場所」をテーマに懇談や情報交換ができました。

- ② 岩本 真由美(東原中学校校長)
- ③ 「すぎくラブ秋祭り」での出店
- ④ R5.11.25(土) 8:30~12:00
- ⑤ 杉九小学校 学童クラブ室
- ⑥ 6名
- ⑦ 杉九小学校内で開催される「すぎくラブ秋祭り」でバルーンアートのブースを出店しました。中学生ボランティアの参加呼びかけを行い、遊びに来た小学生や乳幼児のお客さんを相手に一緒にお祭りを盛り上げました。



① 中瀬中学校区地教連（鈴木恵美・白瀬理恵）

中瀬フェスタ 2023



日時：令和5年10月14日（土）
14時～16時

場所：中瀬中学校
（仮設体育館、及び校舎、昇降口、校庭）

目的：中瀬中学校の生徒が主体となって
フェスタを開催し地域との交流
を深める

参加人数：来校者 482名
子ども実行委員、ボランティア、
出演者、PTA、地域の方々 157名
合計 639名

中瀬中学校生徒の有志が子ども実行委員となり舞台発表、校庭でのゲーム、模擬店などを計画し、地域の小中学校のPTA、地域の方々にサポートをしていただき開催しました。

当日は未就学児、小学生がたくさん遊びに来てくれてゲームや舞台発表を楽しみ、また今年は4年ぶりに開催した焼きそばと、かき氷の模擬店が完売になるほど子どもから大人まで大盛況でした。

中瀬中学校改築工事で狭くなった校庭や仮設体育館、教室に昨年を上回る来校者で、子ども実行委員たちはみんな「楽しかった!!」と成し遂げたことに喜びを感じていました。



ゲーム、模擬店、舞台発表の様子







作業中の子ども実行委員

ここがすごいぞ!!中瀬中生!!
中間テスト、音楽会、漢検等、忙しい中、
中瀬フェスタの準備にも時間を費やしてくれました。お陰様で大成功!!
すごいぞ!!やったね!!お疲れ様!!



青少年委員
鈴木恵美 白瀬理恵

子ども実行委員が作成したチラシ



懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 辻成 一郎 (中瀬中学校校長)</p> <p>③ 学校・家庭・地域の連携 「育てよう ころ豊かな子どもたち」</p> <p>④ R5.6.8(木) 10:30～12:00</p> <p>⑤ 中瀬中学校 第2理科室 (仮設校舎)</p> <p>⑥ 36名</p> <p>⑦ 委員自己紹介、中瀬中学校区 (中瀬中・桃五小・八成小・沓掛小) の校長先生方より学校の様子について、今年度の活動内容についての話の後、「地域で中学生がどのように活躍できるのか」というテーマでグループ懇談を行いました。</p>	<p>② 辻成 一郎 (中瀬中学校校長)</p> <p>③ 中瀬フェスタ2023</p> <p>④ R5.10.14(土) 14:00～16:00</p> <p>⑤ 中瀬中学校 校庭、仮設体育館、仮設校舎</p> <p>⑥ 639名</p> <p>⑦ 校舎改築工事が始まり、狭い校庭や仮設体育館での開催ということになり、実行委員の生徒たちや先生方みんなでお知恵を出し合いながらできることを考えました。当日はお天気に恵まれ、狭い会場内がたくさんの方々の来場者でいっぱいになりました。焼きそばやかき氷といった食べ物の模擬店も復活し、地域の方々や小中学校のPTAさんにサポートしていただきました。大変盛り上がり、実行委員の生徒たちも楽しかったと大満足でした。</p>
<p>④ R6.2.6(火) 9:30～11:30</p> <p>⑤ 八成小学校 家庭科室</p> <p>⑥ 21名</p> <p>⑦ 前日の大雪で出席者が少なくなりましたが開催しました。八成小の授業参観の後、「子どもたちの力が生きる地域」というテーマでグループ懇談を行い、委員の皆様から様々なご意見をいただきました。最後に「中瀬フェスタ2023」の報告をして終了となりました。</p>	



① 井荻中学校区地教連 (大盛悦子・芦 秋子)

井荻中学校 部活動体験&見学ツアー&昔遊び

日時:令和5年9月9日(土)14:00~15:30 場所:井荻中学校

内容:井荻中学校を知ってもらう為、小学生を対象とした部活動体験・部活動見学ツアー・昔遊び体験を子ども実行委員会中心に企画し開催しました。

子ども実行委員会8回 委員数23名

昔遊び担当、部活動見学ツアー担当に分かれて準備に当たりました。昔遊びは・折り紙・おはじき・けん玉・コマの担当に分かれ、遊び方を考えたり、道具を一から手作りしたり、小学生に楽しんでもらう為に準備を進めていました。ツアー担当はツアー時に使う旗やツアー行程表を手作りし、見学しやすい行程を話し合っていました。



***部活動体験・見学ツアー (4年生~6年生)**
・参加小学生90名、実行委員・部員180名

部活動体験では部長を中心に約170名の中学生が体験指導に当たりました。小学生の目線で優しく分かりやすく説明・指導していました。見学ツアーでは子ども実行委員がツアーコンダクターとなり各部活を案内し、小学生15名ほどに実行委員3~4名が付いて移動途中はぐれたりしないように前後に委員が付き添い安全面にも気を付けて活動していました。

***昔遊び体験 (1年生~3年生)**
・参加小学生60名、実行委員23名

折り紙、おはじき、けん玉、コマそれぞれの場所で小学生に遊び方を教えたり、一から手作りした道具と一緒に遊んだり、小学生目線で優しく接していました。開閉会式の会場⇨図書室の移動も参加した子ども達に丁寧に声かけし、列の前後左右への委員配置を行い、移動中の安全にも気を付けて活動していました。



井荻中学校区の子どもたちは自ら考えお互いの考えを尊重し合い、様々な活動に参加しています。子どもたちを温かく見守り応援して下さるこの地域の方々、私たち青少年委員は毎年の出会いが楽しみです。 **井荻中学校区最高!**

大盛悦子 芦 秋子
青少年委員



閉会式では参加した小学生から「楽しかった」「優しく教えてもらった」「色々な部活があることがわかった」などの感想が聞かれました。

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 長谷川 学(井荻中学校校長) ③ 「生きる力をはぐくむ地域」～輪から環へ～ 「地域で考えるこれからのつながり」 ④ R5.6.23(金) 10:00~12:00 ⑤ 井荻中学校 多目的会議室 ⑥ 35名 ⑦ 井荻中学校を授業参観後、井荻中・桃一小・四宮小の校長先生にそれぞれの学校の様子などのお話を伺い、委員自己紹介と情報交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 長谷川 学(井荻中学校校長) ③ 井荻中部活動体験&見学ツアー&昔あそび ④ R5.9.9(土) 14:00~15:30 ⑤ 井荻中学校 ⑥ 380名 ⑦ 小学1年生~3年生は昔あそび、小学4年生~6年生は部活動体験&見学ツアーをしました。子ども実行委員会が中心となり、PTAと地域の方にサポートしていただき開催しました。昔あそびではやり方を教えたり、一から手作りした道具と一緒に遊んだり子ども実行委員が頑張っていました。部活動体験では部活動代表者を中心に、小学生に丁寧に指導していました。見学ツアーでは子ども実行委員がツアーコンダクターとなり案内し、各部活について説明している姿が頼もしかったです。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R5.10.21(月) 10:00~12:00 ⑤ 四宮小学校 パソコン室 ⑥ 40名 ⑦ 四宮小学校を授業参観後、井荻中・桃一小・四宮小の校長先生にそれぞれの学校の様子などのお話を伺い、グループに分かれ懇談し、懇談内容の発表と情報交換を行いました。 	



① 井草中学校区地教連（新 理恵子・小林朱実）

田口校長のお話し会

株式会社リクルート勤務、
パラグアイ共和国アスンシオン日本人学校校長という
異色の経歴を持ち、昨年度、井草中学校に着任された田口校長。
様々な珍しい体験やそこから学んだこと、
その経験を中学校経営にどのように
生かしているか等を、お話しくださいました。



井草中学校 田口校長

日時：令和5年6月24日(土)午後2時～4時

場所：井草中学校 多目的室

参加者：29名(町会関係・PTA関係・井草中CS・教育委員会・青少年委員・その他)



リクルート時代「ケイコとマナブ」担当だった時の話し



熱心に耳を傾ける参加者の皆様

アンケートより


田口校長のお人柄や
考えを知る良い機会
となり有意義でした。

今後の教育に対する
考え方が変わりました。

「生徒」を「顧客」という視点で
捉えており、「顧客分析」を徹底して
学校運営に取り組んでおられるのは
素晴らしいと思いました。

前向きな田口校長の井草中
学に親しみを感じました。

「教える」から
「委ねる」、大切だ
と思いました。

 うちの地域、すごいです！

参加者からは「応援するよ」「協力するよ」とのお言葉を
たくさんいただきました。温かく肯定的にとらえてくださる方が
多いことが、この地域の魅力です。今後も、学校の様子や課題を
共有することで、活発な地教連活動へと繋げていきたいと思ひます。

青少年委員



小林 朱実 新 理恵子

懇談事業

- ② 小美濃 英幸 (善福寺町会会長)
 - ③ 地域の連携を深め、子供たちの「地域を大切に思う心」を育む
 - ④ R5.6.24(土) 14:00～16:00
 - ⑤ 井草中学校 多目的室
 - ⑥ 29名
 - ⑦ 「田口校長のお話し会」
- 異色の経歴を持ち、昨年度から井草中学校に着任された田口校長。体験や学んだことを中学校経営にどのように生かしているか等をお話しくださいました。

子ども地域活動促進事業

- ② 小美濃 英幸 (善福寺町会会長)
- ③ 「井草中学校の紹介ビデオを作ろう！」
- ④ 実行委員会 R5.7.20(木) 発足
- 会議 9.14(木)、9.28(木)、10.12(木)
- 校内撮影 10.22(日)
- 編集会議等 11.2(木)、11.21(火)、11.28(火)、11.30(木)、12.6(水)、12.19(木)
- ⑤ 井草中学校 図書室
- ⑥ 1年生2名、3年生3名 計5名
- ⑦ 近隣の小学生に向けて、井草中学校の魅力伝える映像を制作することになり、7月にメンバーを募集。第1回の顔合わせでは、実行委員会の名前を決める事になり、IGSP(井草スクールプロジェクト)に決定しました。緊張した面持ちの子どもたちも、回を重ねる毎に打ち解け、活発にアイデアを出すようになっていきました。部活班と校内&行事班に分かれて、鋭意制作し、配布しました。



① 荻窪中学校区地教連（会田洋子・山崎 愛）



～ より開かれた地域イベントの これからについて話そう パート2 ～

日時 令和5年11月6日(月) 15:30～17:00
 場所 桃井第三小学校 体育館
 目的 コロナ禍を経て、休止されていた各地域イベントの再開で
 見えてきた課題を地域の皆で話し、共有、連携、引き継ごう。
 たくさんのヒントがあるはず！！

参加人数 38名(小中学校関係、小中PTA、町会関係、主任児童委員
 保育園、幼稚園、地域関係者等)

小学校 PTA 役員のお悩みから、懇談のテーマを決めました。
 皆が悩みながらの再開に合わせ、企画準備時期にパート1、
 総括や引き継ぎ時期にパート2を開催しました。

【地域の皆様とグループワーク】
 6～7名のグループでそれぞれの課題、経験、熱い思いなど
 じっくりと話ししました！

開催出来てホントに
良かった！

次世代にどのように
発展させる？

地域の人と協力を
継続したい！

子どもたちはイベントに
馴染んでる！！

地域の人と人を
つなげるきっかけに！

来年に向け
もう動いています！

♪私たちの地域ってすごい！いいね！♪
 荻窪中学校区はコロナと同時期に地域施設の再編計画が進み、
 この数年で地域活動の大きな変化を迎えました。
 その戸惑いは正直大きく…。
 しかし地域皆様の前向きな姿勢や、
 自分たちで地域を創る熱き思いに
 青少年委員も背中を度々押されて
 います。
 そして、それ以上に子どもたちへ
 の優しさや受容する懐の深さ！
 ここが私の another sky !! 青少年委員：山崎愛・会田洋子

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p> ② 田中 奈那子 (荻窪中学校運営協議会会長) ③ 学校・家庭・地域社会をつなぎ 共に支え 共に創る ④ R5.7.20(木)、R5.11.6(月) ⑤ 井荻小学校体育館 桃井第三小学校体育館 ⑥ 32名、38名 ⑦ 第一回は「より開かれた地域イベントのこれからについて話そう パート1」、第二回は「より開かれた地域イベントのこれからについて話そう パート2」をテーマとして、コロナ禍を経て休止されていた各地域イベントの再開で見えてきた課題を地域の皆で共有しました。ご意見の中に、来年度へ引き継いで行けるようなたくさんのヒントがありました。 </p>	<p> ② 小澤 雅人 (荻窪中学校校長) ③ 荻中フェスタ ④ R5.12.2(土) ⑤ 荻窪中学校校舎 体育館 ⑥ 398名 ⑦ 子ども実行委員を中心に、荻中紹介動画(企画、撮影、編集)、部活動によるゲームや舞台発表、そしてお祭りブースとなる射的やボウリング、お化け屋敷、そしてウォーリーを探せが行われました。子ども実行委員の声掛けにより多数の有志が企画準備に参加し小学生を楽しませました。昨年度は申込みを3年生以上としましたが今年度はより多くの小学生に荻中を知って欲しいという思いから1年生から申込みできるようにしました。子ども・子育てプラザ善福寺は、大人実行委員として参加し子どもたちへの会議の進め方のアドバイスや、お祭り関係の物品の貸出しなど協力いただきました。 </p>



① 宮前中学校区地教連（鈴木孝一）

～広げよう地域の輪
つなげよう地域の心～
「宮前スマイル広場2023」

日時：令和5年11月25日（土）
14：00～16：00
場所：宮前中学校（体育館 中庭 北会議室）
目的：生徒たちのイベント開催体験による自主性の向上と
多世代交流による地域貢献の体感に努める。
参加人数：中学生 158名 小学生 254名
大人 95名 合計507名

宮前中学校生徒による実行委員会が企画し、
第一部は荻窪小学校ソーラン演舞、荻窪小学校管楽器クラブ演奏、久我山
小学校有志合唱、宮前中学校吹奏楽部演奏、ダンス部ステージ、E組演劇を
多くのお客さまに観賞して頂きました。
第二部は生徒と各校PTA（荻窪小学校、久我山小学校、高井戸小学校、
高井戸第四小学校）による、4つのイベントゲームを子どもたち中心に楽し
んでもらいました。
また宮前中学校PTA有志による錦菓子提供も大変に喜ばれました。

「生徒さんたちの素晴らしさ」
実行委員の生徒たちは、自ら立候補し、舞台発表の演出、司会進行に努め、
イベントゲームの提案と実行など自主的に行動し成功体験を味わいました。
また発表者も年々バージョンアップ、特に宮前中学校・特別支援学級E組に
よる演劇は「誰一人取り残さない社会」を自他ともに実感する機会を提供
しました。

青少年委員
鈴木 孝一

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 小寺 正芳（宮前中学校同窓会会長） ③ 広げよう地域の輪 つなげよう地域の心 ④ R5.6.28(水) 10:00～11:40 ⑤ 宮前中学校 視聴覚室 ⑥ 45名 ⑦ 会長、校長先生、教育委員会よりご挨拶を頂き事務局より地域教育連絡協議会の意義など説明。また今年度の事業についてもご案内、協力依頼。その後会員各団体の自己紹介や近況報告と情報交換。</p>	<p>② 小寺 正芳（宮前中学校同窓会会長） ③ 「宮前スマイル広場2023」 ④ R5.11.25(土) 13:30～16:00 ⑤ 宮前中学校 体育館、中庭、北会議室 ⑥ 507名 ⑦ 昨年に続き、一学期終業式にて全校生徒に予定日程のみ伝え、実行委員会公募。18名の生徒の思いを尊重し、小中5校のPTAの方々との対話も含め、計4回の事前準備にて当日へ。一部は小中学校による舞台発表、二部はゲームを中心としたイベント開催にて多世代のお客様をお迎えし、学びの成果を贈りました。特に宮前中学校特別支援学級E組による演劇は、ちがいを越えた自分の居場所づくりの発見につながり感動をも与えました。</p>
<p>④ R6.3.6(水) 10:00～12:00 ⑤ 宮前中学校 視聴覚室 ⑥ 30名 ⑦ 飯田 佳子氏による講演（ゲートキーパーの役割とは）に続き、会員の近況報告と情報交換。</p>	



① 富士見丘中学校区地教連（岡田美津江・毒島さつき）

高齢者施設『浴風会』で花だんの手入れをしています。

日時： 令和5年7月1日(土)夏花植え
令和5年11月25日(土)冬花植え
場所： 浴風会
目的： 花だん作りを通して、自然体験・
社会奉仕・高齢者との交流を図る
参加人数：年間通しての延べ人数 約300人



23年にわたり、『浴風会』の花だんの手入れをしています。
近隣の小学生や保護者と中学生の有志を募り、花を植える準備の土おこし・花苗植え・雑草取りを、
夏冬の2サイクル行っています。中学生が小学生に植え方を教え、和気あいあいと活動しています。





事前に土おこしをする中学生 上手に鉢から取れるかな？ 小学生は水まきが楽しみ

**うちの子たちの
ここがスゴイ！**

花植えは、土おこしに参加した生徒が友達を誘い、当日飛び入りで花を植えるにきてくれました。『さよならプロジェクト』では、生徒たちが企画からチラシ作り、川柳募集、当日準備までがんばりました。
富士見丘中学校は社会貢献活動を目標に掲げた学校です。このほかにも児童館や育成会行事など色々なボランティアの機会があり、参加している生徒がたくさんいます！

今年度は中学校建て替えに伴い夏休みに校舎の引っ越しがあり、旧校舎とのお別れ会『さよならプロジェクト』を行いました。

日時： 令和5年9月1日(金)、2日(土)
場所： 富士見丘中学校
目的： 中学生が愛着のある校舎にお別れする会を企画し、
地域の方に見てもらうことで達成感を持つ
参加人数：9月2日の参加 450人






生徒会からの相談を受け、生徒のやりたいことを形にしていきます。9/1は学校主催で在校生のイベント、9/2は地域や卒業生など一般公開のイベントとし、450名の来場がありました。古い写真や広報紙、校舎への想いをしたためた川柳を見てもらい、校舎にメッセージを描き、生徒会出題のクイズで盛り上がりました。




青少年委員
毒島さつき(左)
岡田美津江(右)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 横田 和長(富士見丘中学校校長) ③ 「つくろう ふれあおう 子どもにとってあたたかい地域」 ④ R5.6.5(月) 10:15～12:00 ⑤ 富士見丘中学校 視聴覚室 ⑥ 43名 ⑦ 高井戸警察署少年係、荻窪消防署、杉並消防署より、最近の情報などのお話と、各小中学校・地域団体より近況や今後の行事予定についての情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ② 横田 和長(富士見丘中学校校長) ③ 浴風会での花だん作りと高齢者との交流 ④ 年間を通した活動 ⑤ 社会福祉法人 浴風会 ⑥ 624名 ⑦ 浴風会での花だん作りも25年目になりました。7月にマリーゴールドと日々草、11月にパンジーを植えました。中学生が枯れた花や雑草を抜いて土おこしを行い、小学生と一緒に花を植えました。高齢者との交流では、小学生が敬老のお祝いカード、中学生がバースデーカードとクリスマスカードを作成し、浴風会の施設と病院にお届けしました。高齢者の方にも喜んでいただき、お礼にしおりをいただきました。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R5.12.4(月) 10:00～12:00 ⑤ 富士見丘中学校 特活室 ⑥ 30名 ⑦ 9月に行われた旧校舎のお別れイベントのライドショー、富士見丘小学校落成式の様子視聴。仮校舎の見学ツアー。「旧富士見丘小学校をどのような形で残してほしいか」をテーマにグループ懇談を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 校舎さよならプロジェクト ④ R5.9.1(金)、9.2(土) 両日10:00～12:00 ⑤ 富士見丘中学校 校舎、体育館 ⑥ 616名 ⑦ 富士見丘中学校改築工事のため、現校舎のお別れ会を生徒会中心に企画し、開催しました。1日目に在校生、2日目に卒業生・地域の方に見学してもらいました。



① 高井戸中学校区地教連（奥山美奈子・安部音羽）

～子どもたちの健やかな成長のため、地域の連携を図る～

日時：令和5年7月14日（金） 10:00～12:00

場所：高井戸中学校 多目的ホール

参加人数：34名

内容：3つのテーマ「居場所作り（不登校児童）」「地域連携をうまくするためにはどうしたらよいか」「子どもたちのスマートフォン、タブレットとの向き合い方」からひとつを選び、意見交換を行いました。



～うちの地域すごいんです～

高井戸中学校では、ボランティアを募集すると多くの生徒が興味を持って参加したいと手を挙げます。高井戸東小学校のフェスタや浜田山小学校の子どもまつりなど近隣小学校のボランティアも進んでいます。夏には浜田山駅前の巻番街まつりにて、お店を出し、いちから企画、販売をしました。子どもたちのキラキラした目は、見守る大人たちに元気を与えてくれました。中学生にお店をらせてくださる商店街の皆さまの懐の深さには感銘を受けました。

また、浜田山駅で長年子どもたちを見守っている人や、地域の人と保護者が一緒にパトロールをしたり、ワンワンパトロール等、地域の連携が凄いです。子どもたちは地域の人たちに見守られ、のびのびと育っています。子どもたちを中心に周りの大人たちが協力し合い、サポートする地域力、とても素敵です！！



青少年委員：奥山 美奈子・安部 音羽

懇談事業

- ② 高津 憲（高井戸中学校校長）
- ③ 子どもたちの健やかな成長のため、地域の連携を図る
- ④ R5.7.14（金） 10:00～11:00
- ⑤ 高井戸中学校 多目的ホール
- ⑥ 34名
- ⑦ 今年度の予定、自己紹介、各学校、警察署、消防署からお話をいただき、また地域の皆様と情報交換を行いました。

- ④ R6.2.16（金） 10:00～12:00
- ⑤ 高井戸中学校 多目的室
- ⑥ 30名
- ⑦ 警察署・消防署・地域の小中学校校長ほか、皆様との情報交換の後、高井戸中学校保護者の奥田邦博氏による「インクルーシブ教育について」講演会を行いました。

子ども地域活動促進事業

- ② 武井 宗義（高井戸中学校学校運営協議会会長）
- ③ 高中ミニコンサート
- ④ R5.12.9（土） 10:00～12:00
- ⑤ 高井戸中学校 体育館
- ⑥ 579名
- ⑦ 高井戸中学校生徒の有志で子ども実行委員を立ち上げ、企画、宣伝、装飾、司会進行など、学校生活ではなかなか経験出来ない事を中学生中心に進めました。近隣の高井戸小・浜田山小・高井戸東小の有志は素晴らしい演奏・合唱で参加してくれました。高井戸中からは、吹奏楽部・和太鼓部・手話コミュニケーション部が参加、和太鼓では小中学生のコラボレーションもあり、小中連携も実現しました。前日準備や当日の片付けでは、PTAやバスケット部・バレー部・バドミントン部・美術部など多くの方々へ協力していただき交流が深まりました。



① 向陽中学校区地教連（若井比呂子）

「学校・地域・家庭の連携」
～こどもたちの健やかな成長を願って～





☆第1回
日時:令和5年7月15日(土)10:00~12:30
場所:向陽中学校 図書室・体育館
参加人数:約100人

- ・「向陽中学校区小中一貫教育の取り組み」について
講話:向陽中学校長 齋藤 耕一郎先生
- ・共催事業 土曜授業
(セイフティー教室講話)の参観
講師:スマイリーキクチ氏
講師ご自身も風評被害にあい、その後講演活動を積極的に行っているスマイリーキクチ氏をお迎えし、「SNSのトラブル防止と安全な関わり方」について、人ごとではないお話を聞くことができました。
授業参観後は、保護者・地域の方々と共に、大人向けのお話も伺うことができ、有意義な懇談の場となりました。

☆第2回
日時:令和5年9月20日(水)13:35~16:00
場所:高井戸第三小学校 さんさんルーム他
参加者:21人

- ・5校時授業参観
- ・講話「日常が戻りつつある今見えてきたこと」
挨拶:高井戸第三小学校長 清水 明先生
講話:下高井戸子供園長 五十嵐 美緒子先生
講話:下高井戸保育園長 松岡 澄先生
講話:永福小学校長 入倉 勝先生
講話:向陽中学校長 齋藤 耕一郎先生
- ・グループ懇談
「幼保小中の現状を受けて、地域ができることは?」

向陽中学校区では、三校の教職員が実施している小中合同研修会にあわせ、毎年輪番で授業参観をしています。




それぞれ年代の異なった子どもたちの、園や学校での日頃の様子や成長を先生方にお話いただき、まわりの大人たちがどのように関わり、見守っていかれるのかを話し合う良い機会となりました。

向陽中学校区には、元気いっぱい人なっつい小学生、地域の様々なイベントにボランティアとして積極的に参加してくれる頼もしい中学生がたくさんいます。これからも学校や地域でワクワクする経験を積み、楽しみをたくさん見つけられるようお手伝いできると嬉しいです。



青少年委員:若井比呂子

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 齋藤 耕一郎 (向陽中学校校長) ③ 「学校・地域・家庭の連携」 ～こどもたちの健やかな成長を願って～ ④ R5.7.15(土) 10:00~12:30 ⑤ 向陽中学校 図書室・体育館 ⑥ 100名 ⑦ 向陽中学校区小中一貫教育の取組についての講話後、セイフティー教室「SNSのトラブル防止と安全な関わり方」の講話を参観し、講師と保護者や地域の方々との懇談を行いました。</p>	<p>② 齋藤 耕一郎 (向陽中学校校長) ③ 向陽子どもまつり ④ R6.3.9(土) 10:00~12:30 ⑤ 向陽中学校 体育館 ⑥ 320名 ⑦ 地域の幼保小中学生の交流を図ることを目的とした「向陽子どもまつり」を開催しました。中学生ボランティアが生徒会と共に子ども実行委員として、企画・運営に携わり、ブースやイベントの内容を考えました。当日は例年ご協力をいただいている、PTAの方々、子ども・子育てプラザ、民生委員の皆様にも、ゲームブースやバルーンアートを担当していただき、中学生は司会進行の他、綿菓子等で奮闘しました。また今年度初めて都立中央ろう学校の生徒会の皆さんが手話を使ったゲームと展示で参加してくれ、地域の子どもたちに笑顔が溢れました。吹奏楽の演奏やダンスのパフォーマンスは日頃の練習成果のお披露目の場となり、会場を盛り上げてくれました。</p>
<p>④ R5.9.20(水) 13:35~16:00 ⑤ 高井戸第三小学校 さんさんルーム他 ⑥ 21名 ⑦ 小中一貫事業の高井戸第三小学校公開授業見学後、「日常が戻りつつある今見えてきたこと」を小・中学校長、子供園園長、保育園園長にお話いただき、その後グループ懇談を行いました。</p>	



① 松ノ木中学校区地教連（澁谷 薫・小林麻里）

まつき地域の子どもたちの生きる力を育むために一つのチームになりましょう！

「チームまつき！！」

<p>日時 令和5年6月19日(月) 10:00～11:30</p> <p>会場 松ノ木中学校体育館</p> <p>参加人数 35名</p>	<p>内容</p> <p>①会長あいさつ・自己紹介。 ②各小中学校の校長先生よりこの地域の良さを活かした学校での取り組みや、どんなことに取り組みたいかについてのお話。 ③そのお話をうけてグループに分かれて話し合い後、まとめ発表。</p>
--	--

①顔見知りになろう





小川会長よりあいさつ



自己紹介

②地域の中に学校がある



松ノ木中 澁谷校長

「ボランティアに積極的に参加し、まつき地域とかがわっていくよう」

フットワークの軽さをいかに、積極的なボランティア活動。松ノ木中の周りの縁をより深く理解する学習をおして地域の中に生徒が帰っていくような学校をつくりたい。

松中生が地域の中で主体的に動く、いろいろな人の声を聞く、声をかける・かけられることが当たり前に行われていくよう、どうしていいかわからないかを模索していく。朝礼などで生徒にボランティア活動に積極的に参加し、地域とかがわっていくことを伝えていく。



松ノ木小 笠原校長

「まつき地域のウェルビーイング（※）を考える」

※ウェルビーイング・・・短期的な幸福のみならず、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

子供たちのウェルビーイング、保護者・教職員・地域などの関係者のウェルビーイングを重視し、ウェルビーイングの循環、その関係者でつくる「場」が幸福となることを目指したい。互いの信頼の高い「場」には対話が重要。地域運営学校（コミュニティスクール）、子供たちの直接対話、対話のきっかけとなる学校活動の発信・透明化に取り組んでいく。



堀之内小 森校長

「『フリースタイル学習』（※）への取り組み」

※フリースタイル学習・・・3年生以上の児童を対象。総合20分時間を使用。自分の興味・関心・日頃の疑問の中から1つテーマを決め、それについての取り組みを通して自ら気づき、自問していく学習。

自分の学習環境・対象を選ぶ、見通しを立てる、自分の考えた方法で進める、振り返る（次へ向かうための先生のアドバイス）という流れで進んでいく。これまでは、失敗させないように教師が先回りしてフォローすることも多かったが、これからは仮に失敗しても、それと向き合わせ、失敗からも学ばせていきたい。また、この学びを通して、点数などの数字だけでは表せない力を引き出していきたい。

③思いを伝えあおう

『各学校での取り組みについて知ることができた』

『子どもたちが安心して活動できる場所をまつきを増やしていきたい』



『学校での活動を透明化していくことで学校・地域・家庭のつながりを強めていきたい』

『子育てでの悩みについて話し合える場をふやし親どうしがつながってほしい』

『うちの地域すごいです！』

～松中生のことをいつも温かく見守ってくれています～

- ◆松中体育館の舞台奥の壁が老朽化でガビガビに割れ、木目がたくさん出てしまっていました。予算が厳しく修復できないことを知った卒業生の塗装屋さんが無償で塗り直してくれました。今では映像を映せるスクリーンとして使えるほどきれいな壁になりました。
- ◆給食室の不具合で給食が作れないことを知った近所の八百屋さんが生徒・職員にたくさんのおかずを届けてくれました。温かい気持ちいただきました。
- ◆困っているお年寄りに手を貸している松中生を見かけた方がその情報を教えてくれました。
- ◆キャリア教育で講師をしてくれた近隣のの方が、街で松中生に会った時、その時のお話を言われたと、伝えてくれました。

青少年委員
小林・澁谷



懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 小川 宗次郎 (松ノ木町会会長)</p> <p>③ まつきの地域の子どもたちの生きる力を育むために一つのチームになりましょう！「チームまつき!!」</p> <p>④ R5.6.19(月) 10:00～11:30</p> <p>⑤ 松ノ木中学校体育館</p> <p>⑥ 35名</p> <p>⑦ 会長・教育委員会挨拶、活動報告と計画、委員の自己紹介、各校校長先生よりこの地域の良さ、学校での取組についてのお話をうけグループディスカッションを行いました。</p>	<p>② 小川 宗次郎 (松ノ木町会会長)</p> <p>③ ふれあいコンサート</p> <p>④ R5.12.16(土) 13:30～15:45</p> <p>⑤ 松ノ木中学校体育館</p> <p>⑥ 480名</p> <p>⑦ 4年目となる生徒の実行委員会は15名で活動、10団体が出演し、4年ぶりに入場制限なしで開催しました。5月末の第1回実行委員会で「子促」とは何かを説明するところから始めました。小中学校が連携しての実施にあたり、松ノ木小から参加が嬉しいとの申し出があったためどのように関わりを持てるかを皆で検討、松ノ木小の教員が依頼を受けて出演することで何とか小中3校が連携する形となりました。当日は実行委員とボランティア生徒が運営の中心となって活躍しました。2日後の懇談事業では今後の子促について考えることをテーマとし、実行委員の生徒も参加して懇談することができました。全体を通して生徒たちは積極的に柔軟性があり、その思考力や行動力には目を見張るものがありました。</p>
<p>④ R5.12.18(月) 15:20～16:40</p> <p>⑤ 松ノ木中学校体育館</p> <p>⑥ 委員24名 生徒15名</p> <p>⑦ 会長・各校長・教育委員会挨拶、グループごとに分かれ自己紹介、「子ども地域活動促進事業の今後の在り方、地域との関わりに望むこと」について、実行委員生徒たちと現状共有し、話し合いました。地域のお祭りに関わる形での子促の提案など前向きな意見がありました。</p>	



① 大宮中学校区地教連 (中尾由加子・日吉朋子・山本眞由美)

【顔と顔の見えるつながりのある地域づくりを目指す】

ボク、なでたろう！
大宮中のゆるキャラです

初の試み！
みんなて
体を動かして
交流しよう

ボッチャ体験

日時：令和5年11月15日(水) 13:30~15:00
会場：大宮中学校 体育館 参加人数：31名 協力：杉並区スポーツ振興財団

懇談事業に参加すれば、参加した方々と顔見知りになり、地域の大人のつながりが広がっていく...
そんな催しになることを目標に開催しています。

まずは、30分の勉強から...
そして投げる練習をして...
いよいよ試合開始！
白ボールに近いのは、赤い青？どっち？
ママはボッチャ中、ZZZ...
いいイトコに転がった！
例年は、教室での講演会でしたが、今年度は教室を飛び出して、ボッチャをやってみよう！ということになりました

アンケート抜粋

- ・初めてのボッチャでしたがとても楽しかったです。
- ・年齢、性別等に影響を受けにくいスポーツだと思いました。お互いがフラットな関係で、声を掛け合ったり、アドバイスをしたりと、楽しく活動できました。
- ・障害があっても参加できるという意味が、自分でやってみて初めて理解できました。
- ・初めてお会いした方々とも盛り上げて良かったです！

ポッチャとは？
赤と青のボールを投げ、的となる白いボールに、いかに近づけるかを競います

おつかれさまでした！

うちの地域、ここがすごいです！

- ・幼稚園から高齢者施設、障害者施設、特別支援学校まで地域内にある。
- ・400mトラックがある済美山運動場は、区内屈指の初日の出スポット。
- ・都立和田堀公園のほか公園が点在し、自然の移ろいを感じられる環境。
- ・地域の方の弱者に対する目があたたかい。
- ・長年続くお祭りがあり、成長した子どもたちも帰ってくる。
- ・向山遺跡や大宮八幡宮、鞍掛の松など、歴史を感じる場所があちこちにある。

青少年委員
山本 中尾 日吉

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 渋谷 達雄(堀ノ内一・二丁目町会会長) ③ 顔と顔の見えるつながりのある地域づくりを目指す ④ R5.7.10(月) 13:30~15:00 ⑤ 大宮中学校 視聴覚室 ⑥ 35名 ⑦ 『マスクを外して井戸端会議』コロナ明けの小・中学校、子供園の取組について、小中学校校長、子供園園長にお話をしてもらい、その後グループにわかれて懇談しました。</p>	<p>② 関田 誠(大宮中学校校長) ③ なでしこフェスティバル ④ R6.3.9(土) 14:00~15:30 ⑤ 大宮中学校 体育館 ⑥ 200名 ⑦ 今年度は、コロナ前の状態に戻していこうと、開催時間も昨年度より30分延長し、参加団体への募集の声かけも広げて計画しました。また大宮中内での認知度アップを図って、実行委員が生徒朝会でポスター制作や出演団体の募集を呼び掛けました。当日の会場設営は、小中学校PTAの協力を得ることができ、地域の力をまとめる大宮中生の力を感ずることができました。</p>
<p>④ R5.11.15(水) 13:30~15:00 ⑤ 大宮中学校 体育館 ⑥ 31名 ⑦ 『とっかかりはボッチャ』今年度は初の試みとして、スポーツを行いながら交流し、地域の大人たちの顔と顔の見えるつながりを広げようと【ボッチャ体験】を開催しました。</p>	



① 泉南中学校区地教連（渡辺春香・石坂督予）

地域と共に♪

地域交流イベントに参加をして生徒の
ココロの活力となる様々な体験を♪

P T Aから頑張る生徒の
為に・・・
ボランティアTシャツを
寄贈頂きました。

アンネのバラ保護活動

日時 5月17日(水)・3月6日(水)15時～17時
場所 泉南中学校 花壇
内容 生徒・地域・学校・PTAが協働してアンネのバラ保護
活動を行い、力を合わせて花を咲かせ、株を増やして
平和を願う想いを繋げる活動
参加人数 120名

方南盆踊り大会

日時 8月19日(土)16時～19時30分
場所 方南小学校
内容 生徒実行委員会を立ち上げお祭りに参加
参加人数 35名

初めて実行委員会を立ち上げ自分たちの
ブースも企画～運営をしました。

盆踊りでの勇姿を見ていた
小学校のPTAから生徒への
参加依頼があり、お祭りに
参加しました。それぞれ
一生懸命に知恵を出し合い、
模索して動いている顔はと
ても逞しく、終了後は、写
真でもおわかりになるよう
に達成感に満ち溢れていま
した。

青少年委員
石坂 督予 渡辺 春香

泉南中のここがすごいんです！

- ・失敗を糧に新たな取り組みを試してみるチカラがある！<リベンジするチカラ>
- ・イベントの終盤には一人ひとり、自分の役割を持ち責任を果たす！<責任を担うチカラ>
- ・イベント中に来年度を見据えた会話をしている！<継続するチカラ>
- 等々・・・何かをすればするほど・・・いろいろなチカラをゲットできる逞しさは
ホントに凄いです！

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 若尾 美暢(泉南中学校校長)</p> <p>③ 学校・家庭・地域が協働し青少年の健全育成に繋げる</p> <p>④ R5.7.10(月) 14:00～16:00</p> <p>⑤ 泉南中学校 多目的ホール</p> <p>⑥ 70名</p> <p>⑦ 自己紹介、今年度一番やりたい事(目標)、グループ懇談 【テーマ】小中連携事業で行っていること・行ってみたいこと</p> <hr/> <p>④ R6.1.25(木) 14:00～</p> <p>⑤ 泉南中学校 校長室</p> <p>⑥ 8名(各校の校長先生・PTA会長・青少年委員のみで開催)</p> <p>⑦ 【テーマ】家庭が学校に求める(期待する)こと</p> <p>(1)学校生活においてどういう風に子どもが育っていった欲しいか？</p> <p>(2)学校では、～をしてくれるんだろう、という期待について 1回目・2回目ともに、子どもたちはもちろんPTA・学校・ 地域含めた学校を取り巻く活動もよりよいものにするべく、 意見交換ができ、有意義な時間となりました。</p>	<p>② 若尾 美暢(泉南中学校校長)</p> <p>③ ～地域と共に♪～</p> <p>④ R5.5.17(水)、R5.8.19(土)、R5.10.21(土)、R6.3.10(日)</p> <p>⑤ 泉南中学校、方南小学校</p> <p>⑥ 188名</p> <p>⑦ お祭りでは、実行委員を立ち上げ、お祭りのブースを計 画・準備・実行し、失敗もありましたが、やり甲斐を噛み 締める良い反省が聞こえました。アンネのバラ保護活動で は、中学校3年間皆勤賞の生徒もいて、任せて下さい！と頼 もしい声も聞こえるようになりました。継続する活動の中 で、自信を身に付けていったり、地域の大人たちとのコミュ ニケーションも形成され、信頼関係もできました。</p>



① 和田中学校区地教連 (小森梨沙)



和田中学校 部活動体験

日時 第1回 令和5年 6月10日(土) 13:40~16:10
 第2回 令和5年10月 7日(土) 13:40~16:10

場所 和田中学校 体育館・校庭・畑・音楽室など
 和田小学校 体育館

実行委員 34名(第1・2回 のべ人数)
参加人数 420名(第1・2回 のべ人数)

中学生実行委員を中心に、生徒たちが主体となって、近隣小学校の4~6年生を対象に部活動体験を実施しています。

小学生にとって、自分が進学を考える中学校が、どこにあって、どんな様子なのか、小学生やその保護者の方々に知ってもらうことを目的とした取り組みです。

また、今年度からは校内の見学ツアーも同時に実施し、中学生がツアーガイドとして和田中内を案内しました。

この事業を通して、近隣小学校のPTAの皆様との交流や、小学校同士も小P協の分区分を越えた交流ができるようになりました。



実行委員による校内案内



農業自然観察部



テニス部



校内見学ツアー

和田中学校区の子どもたち スゴイんです(*´艸`)

和田中学校区では、生徒が地域教育連絡協議会に参加しています。部活動体験について、第1回懇談会では事業内容についてのプレゼンテーション、第2回懇談会では事業の活動報告を行います。

生徒実行委員が作成したスライドを用いて、前年度からの課題やそれについての修正案、また今年度改善された点や引き継ぐべき良かった点などを発表します。

こうして先輩から後輩へ引き継がれ、毎年改善を重ねてきたことが、当日の活動にしっかりと反映されています。また、小学生で体験した子どもたちが和田中に入学生して、今度は実行委員になって運営する。教え合う・学び合う良い繋がりができています。

大人も納得のプレゼンテーション能力、活動をブラッシュアップさせる発想力、自分たちで考えて行動できる対峙力・・・子どもたちのスゴイところ、とってもしっかりとさんあるんです!!



懇談会でのプレゼンテーション



青少年委員 小森

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 岩船 守男(和田青少年育成委員会会長) ③ 子どもたちと共につくる 学校・家庭・地域のネットワーク ④ R5.6.1(木) 16:00~17:30 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 36名 ⑦ 中学生も会議に参加し、懇談会をどのような場に行きたいか、意見交換を行いました。中学生からは、生徒も地域も相互に学習できる場に行きたい等の意見がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ② 村山 忠久(和田中学校校長) ③ 小学生部活動体験 ④ R5.6.10(土)、R5.10.7(土) 13:40~16:10 ⑤ 和田中学校 体育館、グラウンド、教室、畑など、和田小学校 体育館 ⑥ 第1回 230名、第2回 190名 ⑦ 今年度から、部活動体験と並行して校内見学ツアーを実施しました。第2回懇談会では実行委員が活動内容を報告し、次年度の実施について検討しました。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R6.1.31(水) 14:15~16:30 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 51名 ⑦ 合同会社Active Learners共同代表、米元洋次氏に進行をお願いし、中学生が課題として行った『WADA Well-being Project』をテーマに、和田中学校区の地域についてグループでの意見交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ③ ボランティア活動(学校内外) ④ R5.9.9(土)、R5.9.30(土)、R6.2.11(日・祝)ほか ⑤ 和田中学校、和田中央児童館、立正佼成会育成館ほか ⑥ 30名 ⑦ 校内活動として、新入生保護者説明会と並行して実施した模擬授業のサポートや校内案内、校外活動として、和田中央児童館主催「わだっこまつり」のお手伝い、和田一丁目町会餅つき大会のお手伝いなどを行いました。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R6.3 発行 ⑦ 広報紙 2,000部 	



① 西宮中学校区地教連（新留敬子・齋藤千帆）

～あいさつと笑顔でつなぐ子どもと地域～
アドベンチャー
西宮冒険記 **部活動体験!**

日時 11月25日(土)13:30～14:45
場所 西宮中学校（校舎 体育館 校庭）
参加者 小学5・6年生 60名 中学1・2年生200名
大人(先生・PTA)30名

英語部 サッカー部 将棋部 女子バレーボール部 吹奏楽部
テニス部 バasketボール部 美術部 ボランティア部 野球部

小学生は最初緊張気味でしたが、中学生の優しく丁寧な指導で徐々に気持ちほぐれていきました。中学生が小学生と接する姿もほほえましく、中学生と地域の小学生の交流が温かく深まりました。
「部活に参加してくれてありがとう」「入学したら入部してね」……
西宮中での再会を心待ちにする小中学生たちでした。学業はもちろん部活動や地域を大切に西宮気風は確実に受け継がれていくことでしょう。

青少年委員
齋藤千帆 新留敬子

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 西村 文孝(杉並区議会元副議長) ③ あいさつと笑顔でつなぐ子どもと地域 ④ R5.6.15(水) 10:00～11:30 ⑤ 西宮中学校 多目的室 ⑥ 30名 ⑦ 今年度の活動計画および情報交換、懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ② 松元 玲子(西宮中学校PTA会長) ③ 西宮冒険記(アドベンチャー) ④ R5.11.25(土) 13:30～14:45 ⑤ 西宮中学校 ⑥ 290名 ⑦ 高二小、高四小、久我山小、松庵小の5・6年生を対象に、西宮中1・2年生200名が中心となり部活動の体験入部を実施しました。小学生計60名の参加があり、小学生と中学生が交流する姿はとても微笑ましく意義のある事業となりました。西宮中学校の先生や参加した小学校の先生、PTAや地域のボランティアなど、運営スタッフを合わせて290名の方が参加してくれました。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R6.2.20(火) 10:00～11:30 ⑤ 西宮中学校 多目的室 ⑥ 30名 ⑦ DVD「ミニ・ミュンヘン」(ミニ・ミュンヘン研究会 代表 卯月盛夫氏) 上映および情報交換 	



① 天沼中学校区地教推 あまぬまスマイル委員会（大橋ゆかり）



子どもの安全教育



天沼中学校区では、約10年前から清永奈穂先生主宰のNPO法人体験型安全教育支援機構の先生方による防犯教育を毎年行っています。今回は防災教育も行いました。

日 時：令和5年9月30日（土）14:30～16:30
場 所：天沼小学校アリーナ
参加者：児童29名、保護者47名、スタッフ18名




安全教室は、低学年（1年生）対象に行っています。前半は、あやしい場所やあやしい人についてスライドを見ながら考えました。また、「走る」「腕ぶんぶん」「ジタバタ」「かみつく」などの安全確保の基本的な動作を親子で体験しました。後半は、地震が起きた時、揺れ始めの8秒でウサギ→ネズミ→カメのポーズで安全な場所を探して身を守ることが大事と学び、実際に暗い場所で体を低くしての移動や障害物をよけて歩く体験をしました。これらの体験が、自分で考えて行動できる力「安全基礎体力」を身に着ける第一歩になればと思います。



たのしさバクハツ！天沼まつり

令和5年11月18日（土）13:30～16:00
上荻・天沼児童館主催のおまつりが旧若杉小体育館にて開催されました。

地教推ブースでは、通学路マップに防犯面・防災面で気になるところにシールを貼っていただきました。地教推では昨年度より「モデル通学路」に取り組んでいます。今回、多くの方々と直接お話ができて、とても有意義なイベントとなりました。

あまぬまスマイル委員会は、地域内にある組織・活動のネットワークの広がりを活かし、地域全体で子どもの育成や教育に取り組む協議体です。0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、地域の教育・子育てにかかわる課題に主体的に取り組んでいます。


大橋ゆかり

地域教育推進協議会

<p>② 田中 一恵（天沼青少年育成委員会副会長） ③ 「だれにも やさしいまち 天沼」をテーマに地域内にある組織・活動のネットワークの広がりを活かし地域社会全体で子どもの育成や教育に取り組んでいます。</p> <p>◇ 全体会 ④ 第1回 R5.5.17(水) ⑥ 39名 ⑦ 自己紹介、前年度の活動報告、今年度の活動について</p> <p>④ 第2回まちの懇談会 R6.2.29(水) ⑥ 30名 ⑦ 地域活動についてディスカッション</p> <p>◇ 運営委員会 ④ R5.4.19(木)、R6.2.21(水) ⑥ 17名、16名</p> <p>◇ 事務局会議 原則毎月第2水曜日 天沼児童館</p> <p>～今年度の事業～ ● 「モデル通学路について」 ④ R5.6.15(木)/7.19(水)/9.14(木)/R6.2.1(木) ⑦ 天沼小通学路アンケート調査、天沼中マップによる通学路調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● わかば祭り(杉並区立重症心身障害児通所施設わかば) ④ R5.7.22(土) ⑤ 旧若杉小学校体育館 ⑦ 天沼中学生がボランティアとして参加 ● 天沼小学校防犯防災教室(低学年) ※パネル参照 ④ R5.9.30(土) ● たのしさバクハツ！天沼まつり ※パネル参照 (上荻・天沼児童館) ④ R5.11.18(土) ⑥ 子ども443名 大人440名 ● 杉並こども英語村(KIVこども国際村) ④ R6.1.20(土) ⑤ 天沼小学校アリーナ ⑥ 児童41名、中学生5名、大人約20名 ⑦ 8か国の外国人インストラクター、杉並英語村のサポーターの方々と春掛・天沼小1、2年生がゲームやダンスなどを英語で楽しむ国際交流企画 ● 子育て講演会「東京パパママぼうさい出前教室」 ④ R6.2.1(木) ⑤ 天沼児童館 ⑥ 30名 ⑦ 防災の基本、家族の個性でオーダーメイド防災、備蓄編、行動編(講師：NPO法人ママプラグ) ● スマイルニュース R5.4月、11月発行、R6.3月発行 各 4,000部 ● その他 スマイルバッジ、スマイルポスター、エコキャップ活動
--	---



① 高円寺地区地教推 高円寺うきうきプロジェクト (杉本昌代・鳥切智予美)

高円寺うきうきプロジェクト

はぴはぴフェスティバル

次世代育成事業

日時 令和5年7月22日(土) 13:10~15:30 (他に、子ども実行委員会を計6回開催)
 会場 高円寺学園 大アリーナ、多目的・ランチルーム
 参加人数 588名
 内容 「高円寺地域のおまつりを中学生でつくり、高円寺のまちを盛り上げていこう」を合言葉に、0歳から15歳を対象とした高円寺地域のおまつりです。ステージ発表、ゲーム、そして4年ぶりの飲食コーナーで、大いに楽しんでもらいました。

▶ 高円寺学園中学部のここがすごい! ▶ 生徒有志による企画・運営

子ども実行委員は、生徒会活動・部活動は関係なし! 高円寺のまちを盛り上げたいと集まった生徒たちは、一人一人のやりたいこと・やってみたくらいを互いに意見を交わしながら、地域の方々の協力の下、活動を進めています。







▶ 高円寺地区のここがすごい! ▶ ゆる〜く つながる

高円寺地区地域を緩やかな繋がり結び、学校単位の活動を超えて、地域が「子供たち=次世代」の成長を支援していく事業を展開しています。

- 高円寺ゆめ音楽祭 (参加校: 杉三小・杉十小・高円寺学園・高南中)
- 高円寺地域イベントカレンダー発行 (掲載校: 杉三小・杉六小・杉十小・馬橋小・高円寺学園・高南中・杉森中)
- 高円寺会議 (懇談事業)



青少年委員
杉本昌代 / 鳥切智予美

地域教育推進協議会

② 糟谷 一 (高円寺中央町会連合会会長)
 ③ 高円寺を一つの場として捉え、次世代の育成をはじめ、高円寺というまちを皆で作りに上げていくため地域と家庭と学校が一体となったネットワークの構築とその活動の推進。

懇談会事業

- 高円寺会議～第3ラウンド～
- ④ R6.3.11(月) 16:00~18:00
- ⑤ 高円寺学園 多目的・ランチルーム

次世代育成事業

- はぴはぴフェスティバル ※パネル参照
- ④ R5.7.22(土) 13:10~15:30
- ⑤ 高円寺学園 大アリーナ、多目的・ランチルーム
- ⑥ 588名
- ⑦ 「高円寺地域のおまつりを中学生でつくり、高円寺のまちを盛り上げていこう」を合言葉に、高円寺学園中学部生徒有志で結成された子ども実行委員会を中心に、ゲームやステージ発表を企画。4年ぶりの飲食コーナーもあり、多くの方々に楽しんでもらえました。

- 高円寺ゆめ音楽祭
- ④ R5.12.23(土) 13:00~15:20
- ⑤ セシオン杉並 ホール
- ⑥ 723名
- ⑦ 参加団体: 杉三小音楽教室、杉十小音楽教室、高円寺学園箏クラブ・天鼓隊・小学部音楽教室・中学部吹奏楽部、高南中吹奏楽部高円寺地域の音楽祭として今年度で11回目の開催、合唱・吹奏楽・和楽器の演奏などを披露しました。

その他

- 高円寺地域イベントカレンダー
- ④ R5.9、R6.3 発行
- ⑦ 発行部数 5,000部
- 子どもたちに関わるイベント情報をマップ入りで作成しました。
- 広報紙「うきうき通信」
- ④ R6.3 発行
- ⑦ 発行部数 5,000部



① 杉並和泉学園校区地教推 あすをりなすの会 (浅野雅子・田中雅子)

**”ふるさと和泉”を実感し 笑顔いっぱい！
誇りに思える地域づくりを目指して**

ふるさと和泉 みんなの夏祭り

日時: 2023年8月5日(土) 16:00~20:00
会場: 杉並和泉学園校庭 来場者: 3500名
コロナウィルスの影響で過去3回中止を余儀なくされ、4年ぶりに『ふるさと和泉 みんなの夏祭り』が復活！今回は初めて『さざんかフェスタ』とコラボ開催。中学生が地域の一員としての意識を持つ良い機会となりました。猛暑の中、開場時間前からお客様が並び始め終始途切れることのないお客様の列。にぎやかで楽しい夏休みの始まりになりました。



大学体験学習

日時: 2023年6月13日(火) 第5・6校時
会場: 明治大学和泉キャンパス
9年生が地域の大学施設を見学し、大学教員や大学生との交流を通じて将来の進路選択・キャリア形成に対する意識を高めることを目的に行われました。
当日は政治経済学部教授による講義、明治大学生との語らい、大学生ガイドによるキャンパスツアーと有意義な学習となりました。この経験を糧に、進路や未来像を考え、大きく羽ばたいていってほしいと思います。






和泉図書フェス

日時: 2023年11月11日(土) 10:00~12:00
会場: 杉並和泉学園図書館
来場者: 154名
和泉おはなしの会の皆さまにご協力いただき、3万冊の蔵書を誇る杉並和泉学園の図書館開放を行いました。地域の乳幼児や保護者の皆さま・学園の児童生徒がゆったりと読書を楽しむよい時間を過ごしました。

～すごいぞ！和泉～ 私たちの和泉自慢

- * 杉並和泉学園校区には乳幼児施設から専門学校・大学まで様々な学びの場があり、多世代で地域の交流活動ができる！
- * 中高生委員会OB・OG大学生のボランティア団体「ROPE」夏祭りを運営して下さる「をむすびの会」をはじめ、自慢の芝生の校庭を守る「芝草保」「和泉おはなしの会」「和泉親児の会」など数多くの団体が子どもたちのより豊かな生活を願い、楽しく活動している！
- * 和泉の子どもたちは自己肯定感が高く、自ら考え自信をもって行動している！
- * 卒業生も多方面で活躍し、学園生活や地域行事にも積極的に関わりの子どもたちを応援してくれている！
- * 地域の防犯強化・緑化活動にも力を注ぎ「ポリス街角パトロール」や「花咲かせ隊」も積極的に活動している。町会の皆さまを中心とした見守り活動のおかげで子どもたちは安心安全の生活ができる！




青少年委員
田中雅子・浅野雅子

地域教育推進協議会

② 吉楯 正美 (元青少年委員協議会会長)
③ 地域ネットワークの発展、多様な世代交流を通し、ふるさと和泉を実感し誇りに思える地域づくり

◇運営委員会 ④ R5.6.27(火) ⑥ 13名
◇全体会 ④ R6.3.5(火) ⑥ 13名

～今年度の事業～

- 大学体験授業 ※パネル参照
- ふるさと和泉みんなの夏祭り×さざんかフェスタ ※パネル参照
- ⑦ さざんかブースでは中学部生徒たちが自主的に企画・準備を行い店舗を出店し、地域の方の出店店舗にもお手伝いとして参加するなど運営に協力。また、放課後等居場所いずみんなクラブも小学生たちが自主的に店舗を出店、専修大学附属高等学校の有志メンバーがお祭りMCを担当するなど地域の方々と子どもたちが皆で力を合わせ大規模イベントを盛り上げてくれました。
- ポリス街角パトロール (通称: PMP) 意見交換会
④ R5.11.21(火) 10:00~12:00
- ⑤ 杉並和泉学園 会議室 ⑥ 22名
- 第6回 いずみ図書フェス ※パネル参照

- 和泉地区乳幼児関連施設連絡会
- ④ R5.11.29(水) 13:30~15:00
- ⑤ レストナック和泉館 多目的室 ⑥ 14名
- バルーンアート講習会
④ R6.2.28(水) 13:30~15:00
- ⑤ 子ども・子育てプラザ和泉 ホール ⑥ 23名
- ⑦ 乳幼児施設職員と“ROPE”が参加
- 和泉を繋ぐボランティア団体 “ROPE(ロープ)”
- ④ ○学習支援 (通年計11回)
○中高生ツナガル会 R5.8.10(木)
- ⑤ 旧新泉小学校防災会議室、方南児童館 他
- ⑦ 中高生委員会OBの学生、社会人による地域貢献活動。
- IZUMIROOM
④ R5.4.~R6.3. 計152回
- ⑤ 杉並和泉学園 支援本部室
- ⑦ 児童・生徒一人一人に寄り添う居場所として、運営しています。
- 広報誌【あすをり】No4.
④ R6.3 発行
- 和泉親児の会 グリーンキャンプ(協力)
- ④ R5.9.23(土) 13:00~ R5.9.24(日) 8:00解散
- ⑤ 杉並和泉学園 校庭 ⑥ 78名
- 和泉節分祭(協力)
④ R6.1.28(日) 13:00~15:00
- ⑤ 杉並和泉学園 小アリーナ



① 神明中学校区地教推 みんなあつまれ神明の杜 (栗原由香理・土佐 愛)

中学生地域交流事業
神明祭 2023
神明祭実行委員会

地教推サブタイトル
みんなあつまれ 神明の杜

日時：令和5年9月23日(土)11:00～16:00
お店の販売は14時半まで
フィナーレは15時15分から

会場：神明中学校 校庭・体育館・教室

完売 2004年から始まった神明祭。「いつも支えて下さる、地域の方々に学校に来て頂き楽しんでいただく。どうせやるならば、子ども達主体でやりたい事をやらせてあげたい。」という当時の石井会長の意志を引継ぎ、今年度はコロナ禍では出来なかったフルバージョンで開催しました。中学生は11店、地域の方が10店を出店、その他に舞台発表3校(桃二・高四・荻窪)と3団体、ストリートピアノ、オープニングに2団体の演目があり、当日はとても盛況でした。

調理室で朝の仕込

神明中のすごいところ

- ① 地域・同窓会からとても大切にされている
- ② 神明祭のテーマソングがある
- ③ フィナーレは圧巻!!
神明中吹奏楽部とウインド アンサンブル エフエとのコラボ演奏
- ④ 校舎改築のあいだも楽しんじゃう
改築を70年に一度の大チャンスと捉えて、旧校舎に感謝を込めつつ、新校舎が出来るまでの間に沢山のイベントを企画中。子ども達と考える新しい校舎。
- ⑤ 神明祭Tシャツ
生徒の力作の中から投票で案を決定!毎年、地域の方々も当日着用する、神明祭を盛り上げる必須アイテム。

参加者：中学生 144名
出演小学生(高四小・荻窪小・松庵小・桃二小) 140名
大人スタッフ 241名
来場者 1475人 合計 2000人

栗原由香理 土佐 愛

地域教育推進協議会

<p>② 長張 健二(神明中学校同窓会会長)</p> <p>③ 神明中学校区に関わる地域のさまざまな環境にある子どもたちの笑顔と主体性を守り、健全育成への支援を通して、大人も子どもも豊かで活力のあるまちづくりを目指す活動を行う。</p>	<p>●地域の教育力を高めるプロジェクト</p> <p>☆ワークショップ『神明中未来創造プロジェクト』</p> <p>④ R5.7.12(水) 5・6時間目</p> <p>⑥ 全校生徒・学校整備課職員</p> <p>☆映画「桜色の風が咲く」上映と、盲ろう者と通訳者ご夫婦とのお話し</p>
<p>◇懇談会事業</p> <p>④ R5.6.21(水) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 神明中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 40名</p> <p>* R6.3月は、懇談を行わず、地教推約3年分の活動報告冊子を作成・配布</p>	<p>④ R5.8.4(金) 1)12:30～ 2)15:00～ お話し 17:00～18:30</p> <p>⑤ 西荻シネマ準備室・ことカフェ</p> <p>●次世代育成プロジェクト</p> <p>☆サタスタ(土曜日学校)への講師派遣</p>
<p>◇運営委員会</p> <p>④ 概ね月1回開催</p> <p>⑤ 神明中学校内</p>	<p>●多世代・異文化交流プロジェクト</p> <p>☆感謝祭イベント『プロジェクションマッピング(PM)とスカイランタン』</p> <p>④ R5.12.9(土) 16:30～19:00</p>
<p>～今年度の事業～</p> <p>●中学生地域交流事業</p> <p>☆神明祭2023 ※パネル参照</p> <p>② 清水 美穂(神明中学校支援本部 本部長)</p>	<p>●校舎改築プロジェクト◇</p> <p>☆改築ワークショップ『新校舎の模型制作とPM用アニメの作成(卒業生)』</p> <p>④ 10～12月毎週土曜日 13:00～17:00</p> <p>⑥ 卒業生・地域協力者</p>



【絆を深める地域活動】

青少年委員って素晴らしい！

青少年委員になって6年が過ぎました。コロナ禍で全く活動できなかった期間もありましたが、どんな時も子どもたちの希望ある未来のためにできることを考え活動してきました。あっという間の6年ではなく、長い長い6年でした。それは大変なことが多かったからなのかもしれませんが、ひとつひとつ丁寧に対応してきたことがそう感じさせるのでしょう。

子どもたちは日々の忙しい生活の中でいろいろなことを考え、やりたいことを見つけて実現のために努力しています。その姿はとてもたくましく、こちらが勇気をもらえることが多かったです。地域の方々の学校

や地域を愛する気持ちの大きさにも触れ、温かい気持ちになりました。

青少年委員の活動はとても意義のあるものですが、続けていくことが難しいと思うこともあります。でも、一緒に活動する仲間や青少年委員のおかげで続けることができました。それぞれの場所で頑張り、それぞれの活動を持ち寄り認め合い、さらに高めていく。青少年委員って本当に素晴らしいです。この6年間で得たものをこれからも地域活動に活かしていきたいと思えます。(鈴木 里栄)

地域の子どもたちと共に歩んだ至福の日々

10年前、杉並区の小P協に関わることとなり、区内各所で、子どもたちのために様々な活動をされている方々とご一緒させていただきました。その際に、青少年委員の活動へ参加してみたいと思い、翌年度の平成27年度から青少年委員となりました。

子どもたちが安心して成長できる環境を整え、彼らが持つ可能性を最大限に引き出すために、私たちは日々努力してきました。その過程で、多くの素晴らしい出会いがあり、数えきれないほどの思い出と、子どもたちとの関わりの中で多くを学びました。彼らの純粋な笑顔や、未来への希望に満ちた眼差しは、私にとって何よりも大切なエネルギー源でした。彼らと共に過ごす時間は、私にとって決して忘れられないものとなりました。活動に慣れてきた3期を間近にした

頃、活動休止や中止を余儀無くされ、彼らとの関係を断たれた頃は、モヤモヤと活力を削がれた感じになったことを思い出します。少しずつ「やれることをやる」と活動再開時には、彼らの前に進めようとする姿に、勇気を貰いました。私は退任しますが、地域の子どもたちがより良い未来を築いていくための活動はこれからも続くことを心から願っています。地域の絆をさらに深め、次世代に引き継いでいくための活動が、地域社会に少しでも良い影響を与えたならば、これ以上の喜びはありません。最後になりますが、これまでのご支援とご協力に心から感謝申し上げます。皆様とご縁に感謝し、これからも地域の発展に貢献していきたいと思っています。ありがとうございました。(宮内 康子)

地域活動の先にみえるもの

「青少年委員ってどんなことをするの?」お話を聞いて最初に質問したものの、返ってきた答えは「だんだん解っていけば良いから~できることをお手伝いすれば大丈夫よ」とよく理解できないまま、我が子たちが地域の皆さまに育てていただいて少しでも何かお手伝いができればと思い委員としてスタートし、1年目にコロナ禍となりました。様々な事業が中止となるなか、なにが今、地域の子どもたちに必要なのか、私になにができるかな…と自身にいつも問いかけながら、ひたむきに邁進し続ける日々、気が付けば4年が経ちました。

以前、和泉地域運営委員会の席で“学校は海に浮かんでいる船、海は豊かないろいろな人が支えてくれている支援本部や学校運営協議会、地教推は海の文化が豊かになっていくための海に一番近い川”という表現で中曽根教育主事がお話をしてくださったことが強く印象に残っています。山や森で豊かな栄養が出来、その栄養が川によって海に運ばれ海が豊かになっていくように、地教推は様々な人たちが関わり、地域が主体

となり学校と一緒に子どもたちの育ちを考えようとする組織の最大の特徴だとお話くださいました。地教推の様々な事業を通して、子どもたちのより良い成長にとって家庭・地域・学校の相互理解と協力がどれほど大切なものかを実感しています。

感染症の流行によって他者との距離が必要となり、コロナ禍が明けても心の距離までも離れてしまったように思える社会の中で、子どもたちの未来が笑顔と希望にあふれるものであるために私たち大人が自らつながり、相手を思いやり行動する姿は、子どもたちが自分の住んでいる地域や他者のために行動する大人へと成長する道につながるのだと信じて見守り声をかけ続けていきたいと思っています。

また、青少年委員の先輩方、皆さんはいつも前向きで、子どもたちのため、地域のために行動されている素敵な方々と一緒に過ごせたことはとても貴重で幸せな時間でした。ありがとうございました。(田中 雅子)

青少年委員協議会 令和5年度 年間活動状況

月	日	曜日	事業活動・派遣関係
4	14 24	金 月	社会を明るくする運動推進委員会 第1回実務部会 すぎなみ舞祭 第1回実行委員会
5	12 16 24 24 29	金 火 水 水 月	すぎなみ舞祭 第1回企画・広報部会 社会を明るくする運動推進委員会(第1回) 中・高校生委員会事務局協力員委嘱式(四宮森児童館) 中・高校生委員会事務局協力員委嘱式(高井戸児童館) ふれあい運動会 第1回実行委員会
6	2 3 8 17 21	金 土 木 土 水	社会を明るくする運動推進委員会 第2回実務部会 中・高校生委員会事務局協力員委嘱式(堀ノ内東児童館) すぎなみ舞祭 役員会 中・高校生委員会事務局協力員委嘱式(子ども・子育てプラザ善福寺) すぎなみ舞祭 第2回企画・広報部会
7	3 10 11 18 26	月 月 火 火 水	青少年問題協議会(第1回) セッション杉並内覧会 中学校対抗駅伝大会 第1回実行委員会 ふれあい運動会 第2回実行委員会 すぎなみ舞祭 第3回企画・広報部会
8	21 25	月 金	社会を明るくする運動推進委員会 第3回実務部会 すぎなみ舞祭 第4回企画・広報部会
9	13 15 27	水 金 水	ふれあい運動会 第3回実行委員会 中学校対抗駅伝大会 第2回実行委員会 社会教育センター団体交流室運営連絡会
10	2 3 3 6 7 15	月 火 火 金 土 日	社会を明るくする運動推進委員会 第4回実務部会 すぎなみ舞祭 第2回実行委員会 ふれあい運動会 従事者説明会 すぎなみ舞祭 従事者説明会 ふれあい運動会 すぎなみ舞祭
11	1 2 20 28	水 木 月 火	社会を明るくする運動推進委員会 第5回実務部会 青少年問題協議会(第2回) 中学校対抗駅伝大会 第3回実行委員会 社会教育センター団体交流室第2回懇談会
12	8 8 10 21	金 金 日 木	社会を明るくする運動推進委員会(第2回) すぎなみ舞祭 第3回実行委員会 中学校対抗駅伝大会 区長との懇談会
1	4 8 17~19 27 30 31 31	木 月・祝 水~金 土 火 水 水	新年賀詞交歓会 二十歳のつどい 70周年記念パネル展示(区役所ロビー) 70周年記念講演会・パネル展示 民生・児童委員大会 社会教育センター団体交流室第3回懇談会 ふれあい運動会 第4回実行委員会
2	3 5 14 22 25	土 月 水 木 日	中・高校生委員会報告会 社会を明るくする運動推進委員会 第6回実務部会 ファミリー駅伝 従事者説明会 中学校対抗駅伝大会 第4回実行委員会 ファミリー駅伝(雨天中止)
3	4 4 21 22	月 月 木 金	社会を明るくする運動推進委員会 第7回実務部会 すぎなみ舞祭 令和6年度第1回役員会・会計監査 活動報告会 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会

*はオンライン開催

月	日	曜日	定例会・全体会・役員会等	日	曜日	専門部会	日	曜日	ブロック会
4	6 20 27	木 木 木	役員会 定例会・全体会* 三役会						
5	11 18 26	木 木 金	役員会 基礎研修・全体会 三役会	11 18 18 18	木 木 木 木	研修部(ミニ部会) 研修部会 広報部会 地域交流部会	18	木	1・2・3ブロック会
6	1 29	木 木	役員会 三役会	13 16	火 金	地域交流部(記念講演会打合せ*) 研修部(実技研修講師打合せ)	1 10	木 土	3ブロック研修会(和田中地教連) 3ブロック研修会(和田中地教連)
7	6 20	木 木	拡大役員会 定例会・全体会(ブロック別)	13 20	木 木	研修部会 研修部会	20 22	木 土	1・2ブロック会 3ブロック研修会(高円寺地教推)
8	31	木	三役会	7 17 21 31	月 木 月 木	地域交流部会 研修部(パネル展示打合せ) 地域交流部会* 地域交流部(区長との懇談打合せ)	19	土	3ブロック研修会(泉南中地教連)
9	7 21 28	木 木 木	役員会 実技研修・全体会 三役会	7 21 21 21	木 木 木 木	研修部(ミニ部会) 研修部会 広報部(だより配布作業) 地域交流部会	9 21	土 木	3ブロック研修会(高南中地教連) 2ブロック会
10	5 19 26	木 木 木	役員会 定例会・全体会(ブロック別) 三役会				7 19	土 木	3ブロック研修会(和田中地教連) 1・2・3ブロック会
11	2 30	木 木	役員会 委員研修・全体会	14 16 17 21 30 30	火 木 金 火 木 木	地域交流部(記念講演会打合せ*) 広報部(記念誌校正作業) 地域交流部(記念講演会場見学) 地域交流部会 研修部会 地域交流部会	15 16 29	水 木 水	3ブロック研修会(大宮中地教連) 2ブロック研修会(国会議事堂衆議院) 3ブロック研修会(阿佐ヶ谷中地教連)
12	6	水	三役会	7 21 21 21	木 木 木 木	研修部(パネル展示打合せ) 研修部会 広報部会 地域交流部会	2 9 16 18 23	土 土 土 月 土	3ブロック研修会(阿佐ヶ谷中地教連) 3ブロック研修会(阿佐ヶ谷中地教連) 3ブロック研修会(松ノ木中地教連) 3ブロック研修会(松ノ木中地教連) 3ブロック研修会(高円寺地教推)
1	11 18 25	木 木 木	拡大役員会 全体会 三役会	11 18 18 18 25	木 木 木 木 木	研修部(ミニ部会) 研修部会 広報部会 地域交流部会 広報部(記念誌配布作業)	18 31	木 水	1ブロック会 3ブロック研修会(和田中地教連)
2	1 8 15 22	木 木 木 木	役員会 自主研修 定例会・全体会(ブロック別) 三役会				15 15	木 木	1ブロック研修会(IMAGINUS) 2・3ブロック会
3	7 21 28	木 木 木	役員会 互選会・定例会・全体会・ 感謝状贈呈式 新旧三役会・専門部引継ぎ・ 会計監査	21	木	広報部(実践集録配布作業)	2 9 11	土 土 月	3ブロック研修会(阿佐ヶ谷中地教連) 3ブロック研修会(大宮中地教連) 3ブロック研修会(高円寺地教推)

杉並区青少年委員協議会 規約

第1章 名 称

第1条 本会は、杉並区青少年委員協議会と称し、連絡場所を杉並区教育委員会事務局学校支援課に置く。所在地は、杉並区阿佐谷南一丁目15番1号とする。

第2章 会 員

第2条 本会は、杉並区青少年委員(以下「委員」という)をもって構成する。

第3章 目 的

第3条 本会は、杉並区青少年委員に関する規則第2条の規定による職務の円滑な遂行のための調整、相談、共同活動等を組織的、計画的に進めるとともに、青少年関係諸団体相互の連絡調整を図る。さらに、委員の資質の向上を図るための研修を深め、地域活動における青少年の参画を図り、青少年健全育成を推進することを目的とする。

第4章 役員及び会計監査

第4条 本会に、次の役員及び会計監査を置く。

- ① 会 長 1名
- ② 副 会 長 2名
- ③ 会 計 2名
- ④ 書 記 2名
- ⑤ ブロック長 3名
- ⑥ 専門部長 3名
- ⑦ 会計監査 2名

第5条 役員及び会計監査は、次の職務を行う。

- ① 会 長 会を代表し会務を総括する。
- ② 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- ③ 会 計 本会の会計事務を行い、監査を経て全体会に決算報告をする。
- ④ 書 記 本会の議事及び活動に関する事項を記録する。
- ⑤ ブロック長 ブロック会を招集し、その連絡調整にあたる。
- ⑥ 専門部長 担当する専門部を取りまとめる。
- ⑦ 会計監査 本会の会計を監査し、全体会に報告する。

第6条 役員及び会計監査は、選挙規定に従い選出し、全体会で承認を得る。

第7条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章 活 動

第8条 本会は、第3条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- ① 青少年関係諸団体・学校及び官公署等との情報交換、連絡調整に関すること。
- ② 委員の資質向上のための自主研修に関すること。
- ③ 委員相互の連絡協調、調整、相談を密にし、個人活動の充実を図るための支援に関すること。
- ④ 青少年教育に関する調査研究及び広報活動に関すること。
- ⑤ 他地区青少年委員協議会及び青少年関係諸団体との協力関係を深めるための情報交換、交流事業に関すること。
- ⑥ 前各号のほか、青少年健全育成及び青少年の参画支援に関すること。

第6章 専門部及び特別委員会

第9条 本会に次の専門部を置く。

- ① 研 修 部 各種研修を計画、立案し運営にあたる。
- ② 広 報 部 青少年委員だより及び実践集録の発刊等、広報活動にあたる。
- ③ 地域交流部 青少年教育関係各機関・団体との情報交換、交流を計画立案し、運営にあたる。

第10条 必要に応じて、特別委員会を置くことができる。

第7章 会 議

第11条 本会の会議は、次のとおりとする。

- ① 全 体 会
- ② ブロック会
- ③ 役 員 会
- ④ 専門部会
- ⑤ 特別委員会

第12条 全体会は、本会の最高議決機関であり、全会員によって構成され会長が招集する。なお、原則として年6回以上開催し、次の事項を審議する。

- ① 事業計画ならびに予算
- ② 事業報告ならびに決算報告
- ③ 役員及び会計監査の承認
- ④ その他必要事項

第13条 ブロック会は、原則として年6回以上開催し、自主的に運営して次の事項を協議する。なお、ブロック編成は、地域割りにて3つのブロックとする。(旧社会教育会館単位)各ブロックは、必要に応じて副ブロック長を置くことができる。

- ① 個人活動及び諸団体との情報交換
- ② 役員会・専門部会との連絡調整
- ③ 会員相互の親睦
- ④ その他必要事項

第14条 役員会は、会長・副会長・会計・書記・ブロック長・専門部長をもって構成し、会長が招集する。ただし、代理出席することができる。なお、役員会は原則として毎月開催し、次の事項を審議する。

- ① 当該年度の予算の執行ならびに決算書の作成
- ② 事業計画及びブロック会・専門部会との連絡調整
- ③ その他運営上必要と認めた事項

第15条 専門部会は専門部員をもって構成し、部長が必要に応じて招集する。各専門部は、必要に応じて副専門部長を置くことができる。

第16条 会議は、出席者の過半数で議決し、賛否同数の場合は招集者がこれを決定する。

第17条 学校支援課の関係職員は、各会議に出席し参考意見を述べるることができる。

第8章 会 計

第18条 本会の運営に必要な経費は、会費その他の収入をもってこれに充てる。なお、会計はその年度ごとに定める。

第19条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9章 規約の改廃及び細則

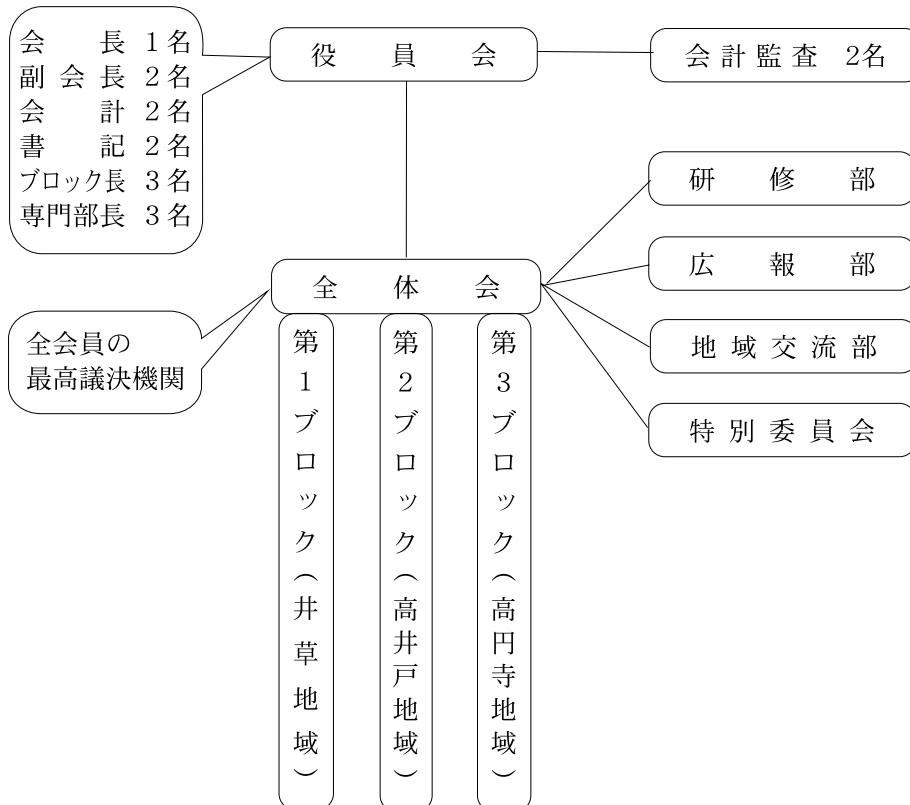
第20条 この規約は、全体会において出席者の過半数の賛成をもって改廃することができる。

第21条 本会の運営上必要な細則は、全体会の承認を経て別に定めることができる。

付 則

- この規約は昭和57年4月1日より施行する。
- この規約は昭和58年3月18日より施行する。
- この規約は昭和59年4月1日より施行する。
- この規約は昭和61年4月1日より施行する。
- この規約は平成5年4月1日より施行する。
- この規約は平成6年4月1日より施行する。
- この規約は平成10年4月1日より施行する。
- この規約は平成12年4月1日より施行する。
- この規約は平成14年4月1日より施行する。
- この規約は平成16年4月1日より施行する。
- この規約は平成18年4月1日より施行する。
- この規約は平成24年4月1日より施行する。

杉並区青少年委員協議会 組織図



令和5年度 杉並区青少年委員協議会 ブロック別委員名簿

	氏名	役職	専門	担当中学校	担当小学校	推薦育成委員会
第一ブロック	会田 洋子	会計監査	広 報	荻 窪	井 荻	上 井 草
	芦 秋子	書記	広 報	井 荻	桃 井 第一	清 杏 中 通
	新 理恵子		研 修	井 草	桃 井 第四	上 井 草
	泉市 清子	会長	広 報	杉 森	杉 並 第一	阿 佐 谷
	大橋ゆかり		地 域 交 流	天 沼	天 沼	天 沼
	大盛 悦子		地 域 交 流	井 荻	四 宮	下 井 草
	栗原由香理	会計	地 域 交 流	神 明	高 井 戸 第四	宮 前
	河野知恵子		地 域 交 流	東 原	杉 並 第九	天 沼
	小林 朱実		広 報	井 草	三 谷	上 井 草
	白瀬 理恵	副ブロック長	地 域 交 流	中 瀬	桃 井 第五	下 井 草
	鈴木 恵美		研 修	中 瀬	八 成	下 井 草
	土佐 愛		広 報	神 明	桃 井 第二	荻 窪
	山崎 愛	ブロック長	研 修	荻 窪	桃 井 第三	上 荻 窪
第二ブロック	浅野 雅子		研 修	杉並和泉学園	杉並和泉学園	方 南 和 泉
	安部 音羽		広 報	高 井 戸	高 井 戸 東	高 井 戸
	岡田美津江	副会長	研 修	富 士 見 丘	富 士 見 丘	高 井 戸
	奥山美奈子	副ブロック長	研 修	高 井 戸	浜 田 山	下 高 永 福
	神戸 朱里		地 域 交 流	東 田	杉 並 第二	成 田
	齋藤 千帆		地 域 交 流	西 宮	高 井 戸 第二	宮 前
	新留 敬子	会計	広 報	西 宮	松 庵	宮 前
	鈴木 孝一	会計監査	地 域 交 流	宮 前	久 我 山	宮 前
	鈴木 春乃		研 修	東 田	東 田	成 田
	田中 雅子		広 報	杉並和泉学園	杉並和泉学園	方 南 和 泉
	毒島さつき		広 報	富 士 見 丘	高 井 戸	高 井 戸
	村木 由紀		研 修	松 溪	桃 井 第二	荻 窪
	目黒 由美	ブロック長	地 域 交 流	松 溪	西 田	成 田
若井比呂子	部長	地 域 交 流	向 陽	永 福	下 高 永 福	
第三ブロック	石坂 督予		地 域 交 流	泉 南	方 南	方 南 和 泉
	小林 麻里		研 修	松 ノ 木	松 ノ 木	堀 松 梅 宮
	小森 梨沙	副部長	広 報	和 田	和 田	和 田
	椎野 玲子	副ブロック長	広 報	阿 佐 ヶ 谷	杉 並 第六	馬 橋
	澁谷 薫	副部長	地 域 交 流	松 ノ 木	堀 之 内	堀 松 梅 宮
	杉本 昌代	副部長	研 修	高 円 寺 学園	高 円 寺 学園	高 円 寺 北
	鈴木 里栄	副会長	地 域 交 流	高 南	杉 並 第十	和 田
	鳥切智予美		地 域 交 流	高 円 寺 学園	高 円 寺 学園	高 円 寺 中央
	中尾由加子	部長	広 報	大 宮	大 宮	堀 松 梅 宮
	日吉 朋子		地 域 交 流	大 宮	済 美	堀 松 梅 宮
	宮内 康子	ブロック長	広 報	高 南	杉 並 第三	高 円 寺 中央
	諸橋 記子	書記	研 修	阿 佐 ヶ 谷	杉 並 第七	阿 佐 谷
	山本眞由美	部長	研 修	大 宮	済 美 養 護	堀 松 梅 宮
渡邊 春香		広 報	泉 南	方 南	方 南 和 泉	

(令和6年3月現在)

令和5年度
青少年委員実践集録

登録印刷物番号

05-0121

地域で育てよう 未来を拓く青少年！

令和6年3月発行

編集 杉並区青少年委員協議会 広報部

発行 杉並区教育委員会事務局 学校支援課
家庭・地域教育担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 03(3312)2111(代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>